





















〔愛知青〕

第二章 教職員

●愛知縣立青年學校教員養成所學則

昭和十一年五月一日 愛知縣令第三十九號  
大正十年四月縣令第六十一號愛知縣立青年學校教員養成所學則左ノ通改正ス

愛知縣立青年學校教員養成所學則  
第一章 總則

第一條 本所ハ青年學校教員養成所令ニ依リ青年學校教員タルベキ者ヲ養成スルヲ以テ目的トス

第二條 修業年限ハ二年トス

第三章 學年、學期及休業日

第三條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第四條 學年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期 自四月一日至八月三十一日

第二學期 自九月一日至十二月三十一日

第三學期 自翌年一月一日至三月三十一日

第五條 休業日左ノ如シ但シ休業日ト雖モ必要ニ應ジ實習ヲ課スルコトアルベシ

一 日曜日

二 祝日、祭日

三 夏期 自八月一日至八月三十一日

四 冬期 自十二月二十五日至翌年一月七日

五 春期 自三月二十五日至三月三十一日

第三章 學科課程及每週教授時數

第六條 學科課程及每週教授時數左ノ如シ

修身及公民科	教 育	國 語	國 史	作 物	園 藝	第一學年		第二學年	
						授每時週教	第 一、第二學期	授每時週教	第三學期
道德ノ要領、法制上經濟上及社會上ノ事項	心理學、論理學、教育史	國語、漢文、作文、習字	國 史	各論、汎論	蔬菜、花卉	四	第一、第二學期	四	二
教育學、教授法、青年教育						三	教育學、教授法、青年教育	四同上	二
						二	同上	二	一
						二	同上	一	一
						二	同上	一	一
						二	果樹、高等栽培	二	一







入學願

私儀青年學校教員志願ニ付御所ニ入學致度別紙履歷書學業成績證明書及戸籍謄本相添へ此段相願候也

本籍  
現住所

戸主又ハ誰子弟  
氏

名  
年 月 日 日生

愛知縣立青年學校教員養成所長氏名殿  
前記某ハ教員免許令第五條ノ各號ニ該當セザルモノナルコトヲ證明ス

年 月 日

市町村長 氏

名

様式第二號

履歷書

本籍  
現住所

〔愛知青〕

氏 名

年 月 日 日生

一 何年何月ヨリ何年何月迄何學校ニ於テ何科修業若ハ卒業何々證書ヲ受領ス(證書寫添附スベシ)

一 何年何月ヨリ何年何月マテ何府縣郡市町村何學校何在職月俸何圓

一 何年何月ヨリ何年何月迄何々ノ實務ニ從事ス  
一 何々ノ廉ニヨリ賞(又ハ罰ヲ受ク)

右ノ通相違無之候也

年 月 日

右 氏

名

様式第三號

誓約書 (用紙ハ本所ヨリ交付ス)

私儀今般御所へ入學許可相成候ニ付テハ所規固ク遵守可仕此段誓約候也

本籍  
現住所

本人 氏

名

〔愛知青〕

●愛知縣立青年學校教員養成所臨時教員養成科規程

昭和十三年五月三日  
愛知縣告示第四百八十七號

愛知縣立青年學校教員養成所臨時教員養成科規程左ノ通定ム

第一條 本科ハ愛知縣立青年學校教員養成所ニ之ヲ置キ青年學校教員タル

ベキ者ヲ養成スルヲ以テ目的トス

第二條 講習期間ハ一年トス

第三條 講習課程及每週教授時數左ノ如シ

學科目	課程	每週教授時數
修身及公民	國體ノ本義、國民道德ノ要領並ニ國民ノ政治生活、經濟生活及社會生活ニ關スル事項	三
教育	教育ノ理論及教授法、社會教育、青年學校經營	三
國語	講讀、作文	四
國史	國史	一
數學	數學	二
職業科	耕種、畜産、養蠶、農藝化學、農業經濟、林業	一
體操	體操、教練、競技、武道	三
計		二七
實驗及實習	實驗、實習、教育實習、見學	五回

様式第四號

卒業證書

右者本所所定ノ課程ヲ卒業セリ仍テ之ヲ證ス

氏

名  
年 月 日 日生

年 月 日

香 號 愛知縣立青年學校教員養成所長位勳 氏

名



第二章 教職員

第四條 本科ニ入學シ得ル者ハ身體強健ニシテ志操堅實ナル男子トシ左ノ各號ノ一ニ該當スル者タルベシ

一 小學校本科正教員又ハ專科正教員ノ免許狀ヲ有スル者  
二 尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年以上ノ中等學校又ハ之ト同程度ノ學校卒業者

三 前號ニ準ズル學力ヲ有スル者  
第五條 入學志願者ハ第一號様式ニ依ル入學願書ニ第二號様式ニ依ル履歷書、學業成績證明書及戶籍謄本ヲ添ヘ所長ニ出願スベシ

第六條 本講習ヲ修了シタル者ニハ第三號様式ニ依ル修了證書ヲ授與ス  
第七條 修了者ハ修了證書受得ノ日ヨリ一年間本縣内青年學校教員ノ職ニ從事スル義務ヲ有ス

現役兵トシテ服務スル期間ハ前項服務期間ニ算入セズ  
第八條 本規程ニ定メナキ事項ハ愛知縣立青年學校教員養成所學則ヲ準用ス

附則

本規程ハ告示ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
本規程施行ニ關スル細則ハ所長之ヲ定ム

第一號様式

入學願  
私儀青年學校教員志願ニ付御所臨時教員養成科ニ入學致度別紙履歷書學業成績證明書及戶籍謄本相添ヘ此段相願候也  
本籍 現住所  
戸主又ハ離子弟

〔愛知青〕

氏 名 年月日生

愛知縣立青年學校教員養成所長氏名殿

前記某ハ教員免許令第五條ノ各號ニ該當セザル者ナルコトヲ證明ス

年月日 市町村長 氏 名 印

第二號様式

履歷書

本籍 現住所 氏 名 年月日生

一 何年何月ヨリ何年何月迄何學校ニ於テ何科修業若ハ卒業何々證書ヲ受領ス(證書寫添附スベシ)

一 何年何月ヨリ何年何月マテ何府縣郡市町村何學校何在職月俸何圓

一 何年何月ヨリ何年何月迄何々ノ實務ニ從事ス

一 何年何月何々ノ廉ニ依リ賞(又ハ罰)ヲ受ケ  
右ノ通相違無之候也

右氏 名 印

第三號様式

修了證書

氏 名 年月日生  
右者本所臨時教員養成科ノ課程ヲ修了セリ仍テ之ヲ證ス  
年月日

香號 愛知縣立青年學校教員養成所長 氏 名 印

〔愛知青〕

公立青年學校教員(學校長ヲ除ク)ノ任用、轉任、退職、増俸、減俸、手當ノ増減等總テ其ノ進退ハ當分ノ間學校長ヨリ學校管理者ヲ經由シ知事ニ内申相成度但シ知事ニ於テ必要ト認ムルトキハ右内申ニ依ラザルコト可有之ニ付爲念申添候尙前記内申ヲナスニハ左記様式ニ依ラレ度  
一 青年學校教員進退ニ關スル辭令書ハ今後進退ニ關シ發令方通牒ト同時ニ辭令用紙送付候ニ付青年學校長ニ於テ辭令書ヲ認メ是ヲ本人ニ傳達有之度左記御了知ノ上萬遺漏無之様取計相成度

- 一 辭令書様式左記ノ通  
二 發令ハ凡テ青年學校長ニ宛テ學務部長ヨリ管理者ヲ經テ之ヲ通牒ス  
三 増俸、減俸、手當ノ増減、賞與ニ關シテハ辭令書ヲ用ヒズ通牒ヲ以テ之ニ代フ

附  
大正十五年八月十七日社會第九一七〇號青年訓練所職員進退並辭令ニ關スル件ハ之ヲ廢止ス

青年學校教員退職ニ關スル調査書ハ大正十五年七月二十七日學第五六二三號通牒ニ準ズルモノトス

青年學校ニ於テ免許狀ヲ有セザル教員ヲ採用スル場合ニハ昭和二年一月二十五日學第三六八號通牒ニ準ズルモノトス

●青年學校職員進退並辭令ニ關スル件

昭和十年四月二十七日  
社教第五〇九號學務部長通牒  
各市町村長 各市町村學校組合管理書  
各公立青年學校校長宛

第一號様式 (半紙半裁)

第 種  
社教第 號  
香 存  
合校  
行施 年 月 日  
第 號  
昭和 年 月 日

第二章 教職員



第二章 教職員

昭和年月日 起案		主任		愛知縣 市長	
學務部長		社會教育主事		愛知縣 郡 町立 青年學校長	
教育課長		視學官		氏 名 印	
總務部長					
人事課長					
左記 年月 日 附發令尙例文ニ依リ處理相成可然哉		左記ノ通 月 日 附發令相成度内申候也			
免許狀種類	新任職名	科 擔 任	時 擔 任	手 俸 給 額	資 格 氏 名 備 考
香領 年月 日	(專) 愛知縣公立青年學校 (兼) 教諭、助教諭、書記 (補) 愛知縣 郡(市) (囑) 町立 青年學校 (教諭、助教諭、書記) (講師、指導員)			級俸 (何圓) 年手當 何圓	兼任ノ場合ハ本職ヲ記載スルコト
認領 年月 日					
第 年 月 日					

青任

〔愛知青〕

- 注意 一 新任ニハ履歷書、免許狀寫、身體検査書、教員免許令第五條各號ノ一二該當セザル市町村長ノ證明書添附ノコト
- 二 兼任ハ履歷書ヲ添附擔任科目擔任時數手當並ニ本職ヲ記載スルコト
- 三 年手當ハ年擔任時數トノ關係考慮ノコト
- 四 新任職名欄ニアル括弧内不用ノ分ハ削除スルコト

第二號様式 (半紙半裁)

〔愛知青〕

第 種	社教第 號	淨書	合校	施行 年 月 日	第 號	昭和 年 月 日
昭和 年 月 日 起案		主任		愛知縣 市長		
學務部長		社會教育主事		愛知縣 郡 町立 青年學校長		
社會教育課長		視學官		氏 名 印		
教育課長						
總務部長						
人事課長						
左記 年月 日 附發令尙例文ニ依リ處理相成可然哉		左記ノ通 月 日 附發令相成度内申候也				
新任職名	新任俸給額	現任職名	現任俸給額	現任支給年月日	現任校現任職任命年月日	資格 氏 名 備 考
(補) 愛知縣郡(市) 青年學校 教諭、助教諭、書記	級俸 (何圓) 年手當 何圓	愛知縣公立青年學校 (教諭、助教諭、書記) 愛知縣郡(市) 青年學校 (教諭、助教諭、書記)	級俸 (何圓) 年手當 何圓	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	
又ハ (退職事由)						

青退

第二章 教職員

- 注意 一 轉任ニハ關係市長又ハ學校長ノ承諾書添附ノコト
- 二 現任職名ハ本職兼職共ニ列記スルコト
- 三 退職申請ニハ本人ノ退職願並學校長調査書添附ノコト



第 種	社教第 號	書簿	合校	行施	年 月 日	第 號	昭和 年 月 日
昭和 年 月 日起案 主任 學務部長 社會教育課長 社會教育主事 總務部長 人事課長				愛知縣 市長 愛知縣 郡(市)青年學校長 愛知縣知事宛 青年學校職員増(減)俸ノ件内申 左記ノ通 月 日附御發令相成度内申候也			
左記 名 月 日附發令尙例文ニ依リ處理相成可然哉							
増 減 俸給(手當)額	現俸給(手當)額	現俸手當	職	名	資 格	氏 名	備 考
當分(何圓) 級俸 年手當 何圓	當分(何圓) 級俸 年手當 何圓	昭和 年 月 日	(專)愛知縣公立青年學校 (兼)愛知縣公立青年學校 (教諭、助教諭、書記) 愛知縣郡(市)青年學校 (教諭、助教諭、書記、指導員)				
注意 一 減額ノ場合ハ本人ノ承諾書ヲ添附スルコト							

【愛知青】

辭令書式

(新任職員ノ場合) (桐透)

愛知縣公立青年學校長(教諭、助教諭、書記)ニ任ス  
何級俸給與  
年 月 日  
位勤功爵 氏 名

【愛知青】

(兼任職員ノ場合) (桐透)

愛知縣公立青年學校長  
(教諭、助教諭、書記) 氏 名  
何青年學校(當該學校名ヲ記スルコト)長(教諭、助教諭、書記)ニ  
補ス  
年 月 日  
愛知縣

第二章 教職員

(專任者轉補ノ場合)

愛知縣公立青年學校長  
(教諭、助教諭、書記) 氏 名  
何青年學校(當該學校名ヲ記スルコト)長(教諭、助教諭、書記)ニ  
補ス  
年手當金何圓ヲ給ス  
年 月 日  
愛知縣

(兼任者轉補ノ場合)

愛知縣公立小學校調導  
(兼愛知縣公立小學校長)  
(兼愛知縣公立青年學校長)  
(教諭、助教諭、書記) 氏 名  
何青年學校(當該學校名ヲ記スルコト)長(教諭、助教諭、書記)ニ  
補ス  
年手當金何圓ヲ給ス  
年 月 日  
愛知縣







- 六 現俸給額手當年額並ニ支給年月日
  - 七 「六級」ノ如ク級俸名ヲ記シ「九五圓」ノ如ク俸給額ヲ記スルコト
  - 八 氏名
  - 九 免許狀受領年月日
  - 十 資格別ニ記載スルコト
  - 十一 總計勤続年月數ヲモ記シ(長三・八)ノ如ク學校長勤続年月數、小學校其ノ他勤続年月數ヲモ記入スルコト
- 備考  
配偶者ノ有無並ニ其ノ職業、再就職者ハ退職ノ年月日、事由、普  
通恩給、一時恩給ノ區別ニヨル年額、休職者ハ休職年月日、事由、  
其ノ他參考トナルベキ事項ヲ記載スルコト  
用紙ハ紙質ヨキ和紙美濃判ヲ用ヒ二ツ折トスルコト

### ●青年學校教員ニシテ小學校教員 ヲ兼務スルノ件

昭和十一年十一月二十九日  
社教第二八二二號學務部長通牒  
各青年學校校長 各小學校校長

標記ノ件ニ關シテハ左記御了知ノ上申請相成度

(愛知青)

●青年學校職員任用申請ニ關スル  
件

昭和十一年二月四日  
社教第一三一號學務部長通牒  
各青年學校校長

標記ノ件ニ關シテ從來日時ヲ週ツテ發令方内申相成候向有之候處爾今ハ左記  
ニ依リ内申相成候度

(愛知青)

●青年學校講師及囑託教員ニ關スル  
ル件

昭和十一年五月十七日  
社教第六四一號學務部長通牒  
各市町村長 各學校組合管理者  
各公立青年學校校長

青年學校令施行ノ際公立實業補習學校囑託教員ノ職ニ在ル者ニ對シテハ青  
年學校指導員トシテ講師ノ職ニ在ル者ニ對シテハ青年學校講師トシテ特ニ  
辭令交付相成ルベキ處今同ニ限リ該手續ヲ省略シ候條右ニ依リ御處理相  
成度

追テ今後ハ囑託教員トシテ發令相成ラズ總テ指導員又ハ講師トシテ囑託  
相成候條併テ御了知相成度

### ●青年學校教練幫助指導等ニ關ス

- 一 學級ハ擔任セシメザルコト
- 二 擔任スル時數ハ每週十二時ヲ超エザルコト但シ季節制ノ青年學校等ニ  
シテ教授及訓練ヲ行ハザル期間ハ十八時迄增加擔任スルコトヲ得
- 三 小學校ニ於テ兼務スル教科目ハ成ルベク青年學校ニ於テ擔任スル教授  
及訓練科目ト同科目タルコト
- 四 申請書中適當欄ニ教科目及時數ヲ明記スルコト

### ●小學校併設青年學校教員ノ小學 校訓導兼務方ノ件

昭和十二年十二月二十一日  
教第五六五二號學務部長通牒  
各市長 各青年學校校長 各小學校校長

標記ノ件ニ關シテ左ノ通り其ノ筋ヨリ通牒有之候ニ付御了知ノ上爾今右ニ依  
リ御取扱相成度

甲號(昭和十二年九月十六日教第  
一四九四號靜岡縣知事伺)

小學校專科正教員ノ免許狀ヲ有スル青年學校教諭、助教諭ヲ小學校專科  
正教員ニ兼任セシムルハ兩校併設ノ場合ニハ差支ナシト認メラレ居候ハ  
共之ト稍々趣ヲ異ニシ小學校本科正教員ノ免許狀ノミヲ有スル青年學校  
教諭、助教諭ヲ併設ノ小學校ニ本科正教員若ハ專科正教員トシテ兼任差  
支無之哉疑義有之候ニ付何分ノ御回答相煩度此段及伺候也

乙號(昭和十二年十二月二日靜普八)  
三號文部省普通學務局長回答)

小學校併設青年學校教員ノ小學校訓導兼務方ノ件

九月十六日教第一四九四號ヲ以テ標記ノ件ニ關シ御照會ノ處右ハ本科正  
教員ヲ兼ヌルハ不可ナルモ短期現役兵トシテ現役ヲ終リタル者ニシテ年

### ル件

昭和十一年八月十一日  
社教第一八〇三號學務部長通牒  
各市町村長 各青年學校校長 各認定學校校長

標記ノ件ニ關シテ周知徹底方關係軍部ヨリ依頼有之候條左記御了知ノ上可然  
御配慮相成度

一 學校配屬將校青年學校教練幫助指導擔任區域左表ノ通り決定相成候ニ  
就テハ此ノ際改メテ幫助指導ヲ受クベキ青年學校校長ヨリ擔任配屬將校  
宛九月末日迄ニ幫助指導ヲ受クベキ生徒數(科別)並ニ希望事項等御申  
出相成度

尙配屬將校ノ出張指導ニツイテハ直接青年學校長ヨリ連絡方御取計相  
成度配屬將校出張ニ要スル旅費支給ニ關シテハ昭和九年二月九日社教  
第一〇〇〇號通牒御參照ノ上可然御配慮相成度

學校配屬將校青年學校教練幫助指導擔任區域表

名	學 校 名	擔 任 郡 市 名
一	宮 中 學 校	一宮市、中島郡、葉栗郡
津	島 中 學 校	海 部 郡
第	一 中 學 校	西春日井郡
小	瀧 中 學 校	東春日井郡、丹羽郡
瀧	田 中 學 校	瀨 戶 市、愛知郡
半	田 中 學 校	知 多 郡
愛	明 中 學 校	名古屋市(東區)東部
名	第一 中 學 校	名古屋市(東區)東部
古	屋 師 中 學 校	岡 (東區)東北部



第二章 教職員

- (一)
- |          |   |         |
|----------|---|---------|
| 第一縣中工業學校 | 同 | (中區)中東部 |
| 愛知縣商業學校  | 同 | (中區)中々部 |
| 尾張縣商業學校  | 同 | (中區)中西部 |
| 名古屋商業學校  | 同 | (西區)西部  |
| 東海商業學校   | 同 | (西區)西北部 |
| 名古屋商業學校  | 同 | (西區)西北部 |
| 熱田商業學校   | 同 | (南區)南東部 |
| 名古屋商業學校  | 同 | (南區)南東部 |
| 名古屋商業學校  | 同 | (南區)南東部 |
| 名古屋商業學校  | 同 | (南區)南東部 |
| 名古屋商業學校  | 同 | (南區)南東部 |

- (二)
- 豊橋縣管内
- |          |         |
|----------|---------|
| 新城農工學校   | 南、北設樂郡  |
| 豊橋中學校    | 豊橋市、八名郡 |
| 成章中學校    | 渥美郡     |
| 岡崎市立商業學校 | 寶飯郡     |
| 岡崎師範學校   | 東、西加茂郡  |
| 刈谷中學校    | 碧海郡     |
| 岡崎中學校    | 岡崎市、額田郡 |
| 西尾中學校    | 幡豆郡     |
| 西尾中學校    | 幡豆郡     |
- 指導員タルベキ要員ハ關係市區町村長ニ於テ當該在郷軍人分會長ト協  
議ノ上毎年除隊スベキ下士官以下ノ内ヨリ之ヲ豫選シ毎年二月末日迄  
ニ左記様式ニ依リ關係地方廳ヲ經テ其ノ所管ノ聯隊區司令官ニ通報相  
成度

指導員トシテ内學校名 申セントスル	現所屬部隊 (中隊號共)	官等	氏名	摘要
----------------------	-----------------	----	----	----

●青年學校指導員、講師勤績功勞  
賞規程

昭和十二年十二月二十八日  
愛知縣告示第四百四十二號

青年學校指導員、講師勤績功勞賞規程左ノ通定ム

第一條 青年學校指導員、講師勤績功勞賞規程

第二條 青年學校指導員、講師ニシテ多年勤績シ其ノ成績顯著ナル者ニ對シ本規程ニ依リ勤績功勞賞狀並ニ別圖ニ依ル賞牌ヲ授與ス

第三條 賞牌ハ上衣左腹部ノ中央ニ佩用スルモノトス但シ第一種ヲ受領シタルモノハ第二種ヲ併用セザルモノトス

第四條 青年學校校長ハ毎年十一月末日現在ニ依リ六年以上ノ勤績者ヲ調査シ別記様式ニ依ル青年學校指導員、講師勤績功勞調ヲ作製シ市町村長ヲ經由シ十二月十五日迄ニ知事ニ内申スベシ

附則

青年訓練所及青年訓練所充當實業補習學校ヨリ引續キ青年學校ニ勤務スル者ハ之ヲ勤績ト見做ス

小學校又ハ中等學校等ニ在職セル職員ニシテ青年學校指導員、講師ヲ兼ヌル者ニハ本規程ヲ適用セズ

〔愛知青〕

(別圖) 賞牌



第一種 十年以上勤績者ニシテ再勤績交付ノ者ハ勤績功勞賞ノ文トシテ金七寶トス

第二種 六年以上勤績者ニシテ成績顯著ナルモノハ勤績功勞賞ノ文トス

第三種 三、三、三

(別記様式)

青年學校指導員、講師勤績功勞調

(昭和 年十一月三十日現在)

愛知縣 市郡 青年學校

氏名	就職年月日	勤績年月數	役種階級及職名	成績	摘要

注意

- 一 勤績年月ノ計算ハ滿年月ヲ計上スルコト
- 二 成績ハ甲乙丙ノ三種ニ分チ記入スルコト
- 三 本規程並ニ青年訓練所指導員精勤賞規程ニ依リ既ニ表彰ヲ受ケタルモノハ其ノ旨摘要欄ニ記入スルコト
- 四 退職後二週間以内ニ再ヒ就職シタルモノハ之ヲ勤績ト見做ス

第二章 教職員



### ●愛知縣縣立學校長處務規程

昭和六年一月九日  
愛知縣訓令第一號

縣立學校

愛知縣縣立學校長處務規程左ノ通定ム

愛知縣縣立學校長處務規程

- 第一條 學校長處務規程ハ別ニ規定アルモノノ外本規程ニ依ル
- 第二條 學校長ハ左ノ各號ニ關シテハ知事ニ意見ヲ具申スヘシ
  - 一 學則ニ關スル件
  - 二 豫算ニ關スル件
  - 三 職員ノ進退賞罰ニ關スル件
  - 四 生徒募集ニ關スル件
- 第三條 學校長ハ左ノ各號ニ關シテハ處分前知事ノ指揮ヲ受ケヘシ
  - 一 臨時休業ニ關スル件但シ非常變災等急迫ノ場合ハ處分後開申スルコトヲ得
  - 二 生徒ノ放校處分ニ關スル件
  - 三 前各號ノ外重要ト認ムル事項
- 第四條 學校長ハ左ノ各號ヲ專行スルコトヲ得但シ第一號乃至第六號ニ關シテハ施行前之ヲ知事ニ開申スヘシ
  - 一 職員ノ縣外出張ニ關スル件
  - 二 修學旅行ニ關スル件
  - 三 生徒ノ入學及卒業ニ關スル件
  - 四 學校醫ヲ除キ雜給支辨ニ屬スル雇職員ノ進退ニ關スル件
  - 五 學校内部ノ諸規則ノ設定改廢ニ關スル件
  - 六 備人ノ備入又ハ解備ニ關スル件

〔愛知青〕

- 七 職員ノ縣内出張、服忌、缺勤、旅行ニ關スル件
- 八 授業ノ始終ヲ定メ又ハ其ノ改定ニ關スル件
- 九 前各號ノ外輕易ナル事項
- 第五條 學校長ハ左ノ各號ニ關シテハ直ニ之ヲ知事ニ開申スヘシ
  - 一 生徒ノ懲戒處分ヲ爲シタルトキ
  - 二 職員又ハ生徒中傳染病患者發生シタルトキ
  - 三 職員ニシテ陸海軍現役ニ服シ又ハ戰時事變ニ際シ召集セラレタルトキ
  - 四 前各號ノ外重要ト認ムル事項
- 第六條 學校長ハ其ノ學校所在ノ市町村ニ居住スヘシ若シ居住シ難キ場合ハ其ノ理由ヲ詳具シ知事ノ認可ヲ受ケヘシ
- 第七條 學校長ハ職員中當直ヲ置キ校内ノ警衛ヲ爲サシムヘシ
- 第八條 學校長縣外ニ出張又ハ旅行セントスルトキハ知事ノ認可ヲ受ケヘシ其ノ縣内ニ在リテハ之ヲ開申スヘシ
- 第九條 學校長缺勤三日以上ニ互ルトキ若ハ服忌ノ場合ハ出勤豫定日ヲ具シ之ヲ知事ニ届出ツヘシ
- 第十條 學校長事故アルトキハ上席教諭其ノ事務ヲ代理スヘシ
- 第十一條 學校長轉任、退職等ノ場合ハ文書物品ノ目錄、會計事務及重要ナル事項ノ圖書ヲ作製シ後任者又ハ代理者ニ引繼ヲ爲スヘシ其ノ死亡ノ場合ニ在リテハ當時ノ現在ニ依リ前項ニ準シ上席教諭之ヲ爲スヘシ
- 第十二條 學校長ハ校務ニ關シ學校名又ハ學校長名ヲ以テ官廳其ノ他ト文書ノ往復ヲ爲スコトヲ得

明治三十七年四月訓令第二十三號愛知縣縣立學校長處務規程ハ之ヲ廢止ス

〔愛知青〕

### ●公立學校職員俸給支給細則

明治三十六年八月三十一日

愛知縣令第六十四號

改正 明治三十七年六月縣令第三十四號、三十八年五月第一八號、四十二年六月第三七號、大正三

年一月第七三號、四年二月第七六號、七年七月第六二號、一一年一〇月第七〇號

- 第一條 公立學校職員ノ俸給ハ毎月二十三日ニ於テ之ヲ支給ス但シ休日ニ當ルトキハ繰下トス
- 外國へ派遣ヲ命シタル者ニ對スル俸給ハ六箇月分以内前渡ヲ爲スコトヲ得
- 第二條 退職又ハ死亡シタルトキハ當月分ノ俸給全額ヲ其ノ際支給ス但シ懲戒處分若ハ刑事裁判ニ由リ退職シタル者ハ其當日ヲ限リ日割ヲ以テ支給ス
- 第三條 休職者ニハ其ノ休職中俸給三分ノ一ヲ給ス但教員養成ヲ目的トスル官立府縣立ノ學校ニ入學スル場合ニ於テ休職ヲ命シタル者ニハ之ヲ給セス又ハ三分ノ一以下ヲ給スルコトアルヘシ
- 前項但書ノ場合ニ於テ休職セサル者ニ對シテハ當月分ノ俸給全額ヲ其ノ際支給ス
- 第四條 學校ノ休業及高等官々等俸給令第二十九條但書ノ事故又ハ產前產後ノ休業期間ハ病氣若ハ私事ノ故障ト連續スルモ減俸トナルヘキ缺勤日數中ニ算入セス又病氣ト私事ノ故障ト連續スルモ之ヲ通算セス
- 第五條 陸軍給與令又ハ海軍給與令ニ依リ俸給ヲ受ケル職員ニシテ其俸額職員ノ俸給額ヨリ寡少ナルトキハ其不足額ヲ補給ス
- 第六條 俸給計算上錢位未滿ノ端數ヲ生スルトキハ切捨トス
- 俸給日割計算ヲ要スルトキハ年額ハ其ノ月額ニ月俸ハ其ノ月分ノ俸給額ニ給與スヘキ日數ヲ乘シ其ノ月ノ現日數ヲ以テ除スヘシ



第二章 教職員

第七條 前條ノ外俸給支給ニ關シテハ文官俸給支給細則第二條第二項及第三條乃至第七條ヲ準用ス

附則 本令ハ大正三年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス  
本令發布以前ニ於テ召集セラレタルカ爲メ休職トナリタル者ハ尙從前ノ規定ヲ適用ス

●公立學校職員休職俸給否ニ關スル件

昭和七年一月十五日  
教第六八二七號學務部長通牒

各公立中等學校校長 各公立實業補習學校校長

公立學校職員陸海軍現役ニ服シ又ハ幹部候補生トシテ入營スル場合ノ休職俸給ハ可成之ヲ請求セシメサルコトトシ其ノ事故止ミタルトキハ能フ限り復職セシムルヲ適當ト存シ候條該當者アル場合ハ右御合ミヲ以テ可然御措置相成候様致度

●公立學校職員年功加俸給與細則

大正十年一月二十八日  
愛知縣令第十二號

修正 大正一〇年九月縣令第一〇四號、一二年二月第二二號、一五年七月第一五二號、昭和六年六月第七二號、九年五月第四四號、一二年一月第八號

公立學校職員年功加俸給與細則左ノ通定ム

公立學校職員年功加俸給與細則

第一條 公立學校職員年功加俸令ニ依リ加俸年額ハ左表ニ依リ之ヲ給ス

〔愛知青〕

勤続五年以上十年未満	九六圓	六〇圓	七二圓	三六圓
勤続十年以上十五年未満	一四四圓	八四圓	一二〇圓	七二圓
勤続十五年以上	一九二圓	一二〇圓	一六八圓	九六圓

第二條 公立學校職員年功加俸令第一條第一項ニ該當スル者若クハ現ニ年功加俸ヲ受ケル者ニシテ其ノ俸給額又ハ勤続年數ニ異動アリタル爲加俸額ノ増減ヲ要スル者アルトキハ其ノ都度縣立學校ニアリテハ學校長市立學校ニアリテハ市長、其ノ他ノ公立學校ニアリテハ學校長ヨリ第一號様式ニ依リ知事ニ上申スヘシ

第三條 年功加俸ヲ受ケル者ニシテ懲戒處分ヲ受ケタルトキハ加俸ノ支給ハ左ノ各號ニ據ル

一、誹責ノ場合ニアリテハ誹責ヲ受ケタル日ヨリ三箇月以内三分ノ一ヲ減額ス但其ノ情況ニ依リ減給セサルコトアルヘシ

二、減俸ノ場合ニアリテハ其ノ減俸期間中支給ヲ停止ス

第四條 公立學校職員俸給令第十條ノ場合ニ於テハ年功加俸ハ之ヲ俸給額ニ合算ス

第五條 公立學校職員俸給令第十五條ニ依リ俸給ヲ受ケル者ニ對スル年功加俸ハ本俸支給ノ割合ニ依リ之ヲ給ス

第六條 公立學校職員年功加俸ハ縣立學校在職ノ者ニアリテハ當該學校ニ於テ其ノ他ノ公立學校在職ノ者ニアリテハ縣廳ニ於テ之ヲ支給ス

第七條 年功加俸ノ受給者ハ第二號若ハ第三號様式ノ請求書ヲ調製シ毎月

〔愛知青〕

支拂期日ノ五日前迄ニ支拂際額ニ差出スヘシ  
第八條 同一學校内ニ於テ加俸ヲ支拂ヲ受ケル者二名以上アルトキハ總代人ヲ以テ第三號様式ニ依リ請求ヲ爲スヘシ  
前項ノ場合ニ在リテハ豫メ總代人ヲ定メ其ノ旨届出ツヘシ總代人ニ異動ヲ生シタルトキ亦同シ

附則 本令ハ大正九年十月分ヨリ之ヲ適用ス

附則 (昭和六年縣令第七十二號)  
本令ハ昭和六年六月分ヨリ之ヲ適用ス

昭和六年五月三十一日現在ニ於テ勤続五年以上ニ達スル者ハ本令ノ適用ニ付テハ現ニ年功加俸ヲ受ケル者ト看做ス

附則 (昭和十二年縣令第八號)  
本令ハ昭和十二年一月一日ヨリ之ヲ適用ス  
昭和十一年十二月三十一日以前ニ於テ既ニ年功加俸ヲ受ケル者ニ在リテハ本令ニ依リ現在ノ受給額ヲ減セラルコトナシ

第一號様式

公立學校職員年功加俸令 第一條又ハ第七條ニ依ル 就職年月日	勤続年數 年	加俸給與 額月	現在俸給 額月	待遇職氏名
-------------------------------------	-----------	------------	------------	-------

備考

一 加俸給與年額増減上申ノ場合ハ現給與額ヲ墨書シ増減給與額ヲ朱第三號様式

年功加俸請求書

第二章 教職員

書スヘシ  
二 待遇欄ニハ委任、判任ノ別ヲ明記スヘシ  
三 任免月日、事項及俸給額ヲ詳記シタル履歷書ヲ添付スヘシ

第二號様式 年功加俸請求書

一 金 圓 錢也  
内金 圓 錢  
但昭和 年 月分年功加俸

備考 現在本俸(月) 圓 錢 昭和 年 月 日附給與  
同 加俸(年) 圓 錢 昭和 年 月 日附給與  
右請求候也 昭和 年 月 日 現住所

愛知縣知事(何學校長)殿

備考 一 請求書ノ紙首ニ三行ノ空罫ヲ存置スルコト  
二 本俸ノ昇給又ハ加俸ノ増額セラレタルトキハ何年何月何日「何々」何程ヨリ「何々」何程ニ昇給又ハ増額ト相當欄ニ記載ノコト

支拂ヲ受クヘキ金庫名(右欄下方ニ記スルコト)

支拂ヲ受クヘキ金庫名(右欄下方ニ記スルコト)

支拂ヲ受クヘキ金庫名(右欄下方ニ記スルコト)

支拂ヲ受クヘキ金庫名(右欄下方ニ記スルコト)

支拂ヲ受クヘキ金庫名(右欄下方ニ記スルコト)

支拂ヲ受クヘキ金庫名(右欄下方ニ記スルコト)

支拂ヲ受クヘキ金庫名(右欄下方ニ記スルコト)

支拂ヲ受クヘキ金庫名(右欄下方ニ記スルコト)

支拂ヲ受クヘキ金庫名(右欄下方ニ記スルコト)



教諭(助教諭、訓導、保母)何某始 名總代

某

一金 圓 錢也

內金 圓 錢也

現金支給額  
國庫(縣)納金額

但昭和 年 月分年功加俸  
内譯

請求加俸額	納金額	差引支給額	本俸月額	同上給與年月日	事由	職氏名
一七〇〇	一七〇〇	〇	一六六圓六六	昭和七年十二月三十一日	奏任待遇	何某
九三三	〇九	一六八三	二〇四・〇〇	昭和八年三月三十一日	校長兼教諭	何某
二六三三	二六	九二四	二五・〇〇	昭和八年十二月三十一日	奏任待遇	何某
九〇〇	一八	八八二	一・二〇	昭和七年九月三十日	教諭	何某
五五〇	一一	五三九	〇五・〇〇	昭和八年六月三十日	判任待遇	何某
一四五〇	二九	一四二一	〇八・〇〇	昭和九年四月一日	教諭	何某
四〇八三	五五	四〇二八	七五・〇〇	昭和九年五月三十日	助教諭	何某
			六六・〇〇	昭和八年十二月三十一日	助教諭	何某
合計	四〇八三	四〇二八	以上納金百分ノ一			
小計	一四五〇	一四二一	以上納金百分ノ二			

右請求候也

昭和 年 月 日

右

現住所

氏

名印

愛知縣知事(何學校長) 殿

〔愛知青〕

〔愛知青〕

- 一 第二號様式備考ニ同シ
- 二 國庫納金ヲ要スルモノニシテ加俸ノ百分ノ一及二ノ納金ヲ爲スモノアル場合ハ百分ノ一ヲ前ニ、百分ノ二ヲ後ニ記入シ各其ノ小計ヲ爲シ最後ニ合計スルコト
- 三 縣納金ヲ要セサルモノ及之ヲ要スルモノアル請求書ニ在リテハ納金ヲ要セサルモノヲ前ニ記スルコト
- 四 本俸ノ昇給又ハ加俸ノ増額セラレタルトキハ何年何月何日「何々」何程ヨリ「何々」何程ニ昇給又ハ増額ト事由欄ニ記載ノコト

### ●公立學校職員年功加俸支給手續

大正十五年七月一日  
愛知縣訓令第七十八號

農務部長 公立學校長 市町村長

公立學校職員年功加俸支給手續

公立學校職員年功加俸支給手續

- 第一條 縣立學校長市長及町村立學校長ハ毎年六月二日ニ於ケル五年以上勤績ノ所屬職員數ヲ左ノ各項ニ依リ調査シ別記第一號様式ニ依リ七月十日限り之ヲ知事ニ報告スヘシ
- 一 職員ノ範圍及勤績年數ノ計算ニ關シテハ公立學校職員年功加俸令第一條及第七條ノ規定ニ依ル
  - 二 公立學校職員俸給令第九條ニ依リ其ノ俸給ヲ分割シテ支給セラルル者ハ俸給額多キ方ノ職員ノ欄ニ掲ケ俸給額ハ其ノ合算額ニ依ル







種別員	年功加	學校長教諭助教諭監					調導保姆					總計	加俸一人當支心年額
		何	何	何	小	加俸一人當支給年額	何	何	何	小	加俸一人當支給年額		
		員	員	員	員	員	員	員	員	員	員		
五年以上十年未滿	額												
十年以上十五年未滿	額												
十五年以上	額												
計	額												

第三號様式

年功加俸支給表

下付年月日	年功加俸支給表	年月日	年月日	職	學
給與額金	圓金	圓金	圓金	氏名	校名

〔愛知青〕

〔愛知青〕

支給年度	四月分	五月分	六月分	七月分	八月分	九月分	十月分	十一月分	十二月分	一月分	二月分	三月分	備考
大正 年度													
大正 年度													
大正 年度													
大正 年度													

備考

- 一 受給者轉任又ハ其ノ他ノ事故ニ依リ加俸ヲ罷メラレタルトキハ其ノ事由及年月日ヲ備考欄ニ記入スルコト
- 二 支給ヲナシタルトキハ各相當欄ニ其ノ月日及捺印ヲナスコト
- 三 冊末ニ左式ノ集計表ヲ附スルコト

集計

年	月	日	給與額	人員	摘要



改正 明治三十七年六月縣令第三七號、四三年八月第五一號、大正三年一月第七二號、四年四月第三八號、七年六月第五一號、九年七月第一一七號、九月第一三一號、昭和二年四月第五〇號、四年五月第五六號、九月第七四號、六年一月第二二號、六月第七四號、一〇年四月第三一號、一二年九月第五〇號

- 第一條 公立學校教職員ノ俸給ハ第一號表、第二號表、第三號表ニ依ル但シ外國人ニシテ本條ノ規定ニ依リ難キ事情アルトキハ之ヲ超過シテ給スルコトヲ得
- 第二條 一等給ヲ受ケ在職五年以上ニ至リ特ニ功勞アル教職員ニハ本俸三分ノ一以下ノ加俸ヲ給スルコトアルヘシ
- 第三條 俸給ハ毎等給在職一年以上ニ至ラサレハ増給スルコトヲ得但シ大學講師ニ在テハ十二等給以下大學教員專門學校助教授心得囑託教員書記心得ニ在テハ九等給以下同助手ニ在テハ四等給以下其ノ他ノ學校教員心得ニ在テハ八等給以下同教諭心得囑託教員合監心得書記心得助手ニ在テハ四等給以下ハ此限ニアラス
- 第四條 二校以上ノ教職員ヲ兼スル者ニハ其ノ俸給ヲ分割支給スルコトアルヘシ
- 第五條 教職員中教授ニ從事スヘキモノ、俸給ハ其ノ教授時數ニ應ジ等給相當ノ額ヲ減スルコトアルヘシ
- 第六條 名稱ノ異ナリタル教職員ノ兼務ニ對シ俸給ヲ支給スル場合ニ在テハ亦前條ニ同シ
- 第七條 教職員ノ俸給ハ之ヲ年手當トシテ給與スルコトアルヘシ
- 第八條 特別ノ事情アルモノハ第三條ノ制限ニ依ラサルコトアルヘシ
- 第九條 病氣ノ爲執務セサルコト六十日ヲ超ユル者及私事ノ故障ニ依リ執務セサルコト二十日ヲ超ユル者ハ俸給ノ半額ヲ減ス但シ學校ノ休業及職務ノ爲傷喪ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ又ハ服忌ヲ受ケル者及妊娠ニ依リ休業期間ハ缺勤日數中ニ算入セス

●公立學校雇職員俸給規則

明治三十六年十月十二日  
愛知縣令第七十五號

〔愛知青〕

第九條ノ二 前條ノ外俸給ノ支給ニ關シテハ明治三十六年八月縣令第六十四號公立學校職員俸給規則第一條、第二條、第五條乃至第七條ヲ準用ス但シ年俸ノ支給及新任、増俸、減俸ノ場合ノ計算ハ公立學校職員俸給令ノ例ニ依ル

第九條ノ三 雇職員死亡シタルトキハ在職最終ノ月俸額三月分ヲ其ノ遺族ニ支給ス

前項ノ遺族及其ノ順位ニ關シテハ判任官俸給令第十三條ノ規定ニ從フ本條ノ場合縣立學校ニ在リテハ學校長ヨリ其ノ他ノ學校ニ在リテハ管理者ヨリ本人ノ職氏名ヲ具シ戶籍謄本ヲ添へ十五日以内ニ知事ニ上申スベシ

第十條乃至第十二條 削除

附則

第十三條 本則ハ市町村立小學校及小學校ニ類スル各種學校ニ適用セス

第十四條 本則ハ明治四十三年九月一日ヨリ施行ス

第十五條 本則施行ノ際別ニ辭令ヲ受ケサル者ハ現ニ受ケル俸給額ニ相當スル等給俸ヲ受ケ

第十六條 現ニ本則ニ規定スル俸給額ニ相當セサル俸給ヲ受ケル者ハ當分ノ内現在ノ儘支給ス但シ其ノ者ノ取扱ニ關シテハ其ノ俸給ニ最モ近キ上給ノ俸給ヲ受ケルモノト見做ス

第十七條 第九條第二項ノ規定ハ本令發布以前ニ於テ既ニ召集セラレタルカ爲メ退職トナリタル者ニモ之ヲ適用ス

附則

(大正七年縣令第五十一號)  
本令施行ニ關シテハ第十五條第十六條ヲ適用ス

附則 (大正九年縣令第三百三十一號)  
本令ハ大正九年八月分ヨリ之ヲ適用ス

第二章 教職員

從前ノ規定ニ依リ俸給ヲ受ケルモノハ現ニ受ケル本俸及臨時手當ノ合計額ニ相當スル等給ヲ受ケルモノトス但シ相當等給ナキトキハ其ノ金額ノ俸給ヲ受ケルモノトス

從前ノ規定ニ依リ一等給ヲ受ケタル在職年數ハ之本令ニ依リ一等給ヲ受ケル在職年數ト見做ス但シ從前ノ規定ニ依リ一等給ニ付第二項ノ規定ニ依リ算出シタル金額カ本令ニ依リ改正俸給ノ二等給以下ナルトキハ此ノ限ニアラス

第二項但書及前項但書ノ規定ニ該當スル者ノ取扱ニ關シテハ其ノ俸給ニ最近キ上級ノ俸給ヲ受ケルモノトス

附則 (昭和六年縣令第七十四號)

本令ハ昭和六年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ從前ノ規定ニ依リ俸給ヲ受ケル年俸ノ職員ニシテ年額千二百圓以上ノ俸給ヲ受ケル者ハ本令ニ依リ之ニ該當スル俸給(等給俸當該順位ノ等給俸)ヲ受ケ年額千二百圓以下ノ俸給ヲ受ケル者ハ定額ノ改正ニ拘ラス從前ノ俸給ヲ受ケ

本令施行ノ際年俸ヲ受ケル職員ニシテ現ニ本令ニ定ムル定額ニ對當セサル俸給ヲ受ケル者ハ其ノ俸給年額千二百圓ヲ超ユルモノニ在リテハ從前ノ之ニ直近スル下位ノ俸給定額ノ例ニ依リ減額シタル俸給ヲ受ケ俸給年額千三百圓ヲ超ユルモノニ在リテハ年額千三百圓ノ俸給ヲ受ケ但シ俸給年額四千圓ヲ超ユルモノニ在リテハ從前ノ之ニ直近スル下位ノ俸給定額ハ從前ノ高等官々等俸給令ノ定額ヲ準用ス

本令施行ノ際現ニ從前ノ規定ニ依リ俸給ヲ受ケル月俸ノ職員ニシテ左表上欄ノ俸給ヲ受ケル者ハ各其ノ相當下欄ノ俸給ヲ受ケ但シ月額百四十圓ヲ超ユル俸給ヲ受ケル者ニ在リテハ昭和六年勅令第五百十五號附則第三項左表ノ規定ヲ準用ス



百四十圓未満ニシテ百三十圓ヲ超ユルモノ	百三十一圓	現ニ受ケル額ト百三十圓トノ差額ニ百二十一圓ヲ加ヘタル額ト得ス
百三十圓未満ニシテ百二十圓ヲ超ユルモノ	百二十二圓	現ニ受ケル額ト百二十圓トノ差額ニ百十四圓ヲ加ヘタル額ト得ス
百二十圓未満ニシテ百十圓ヲ超ユルモノ	百十四圓	現ニ受ケル額ト百十圓トノ差額ニ百五圓ヲ加ヘタル額ト得ス
百十圓未満ニシテ百圓ヲ超ユルモノ	百五圓	現ニ受ケル額ト百圓トノ差額ニ九十七圓ヲ加ヘタル額ト得ス
百圓以下ニシテ九十七圓ヲ超ユルモノ	九十七圓	超ユルコトヲ得ス

第一號表

大學 年俸 講師	一等給 三、六〇〇圓	二等給 三、〇〇〇圓	三等給 二、五〇〇圓	四等給 二、〇〇〇圓	五等給 一、五〇〇圓	六等給 一、〇〇〇圓	七等給 八〇〇圓	八等給 七〇〇圓	九等給 六〇〇圓	十等給 五〇〇圓	十一等給 四〇〇圓	十二等給 三〇〇圓	十三等給 二〇〇圓
----------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	----------	----------	----------	----------	-----------	-----------	-----------

第二號表

大學 年俸 教授・心得	一等給 三、一〇〇圓	二等給 二、七〇〇圓	三等給 二、三〇〇圓	四等給 二、〇〇〇圓	五等給 一、七〇〇圓	六等給 一、四〇〇圓	七等給 一、一〇〇圓	八等給 九〇〇圓	九等給 八〇〇圓	十等給 七〇〇圓	十一等給 六〇〇圓	十二等給 五〇〇圓	十三等給 四〇〇圓
-------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	----------	----------	----------	-----------	-----------	-----------

〔愛知青〕

科 職	俸	1,470	1,000	1,110	1,190	1,050	1,050	970	850	750	650	600	550	500	450	400	350	300	250	200	150	100	50	
校 學 門 專	俸 月	助 手	助 手	助 手	助 手	助 手	助 手	助 手	助 手	助 手	助 手	助 手	助 手	助 手	助 手	助 手	助 手	助 手	助 手	助 手	助 手	助 手	助 手	助 手

第三號表

〔愛知青〕

●公立學校雇職員俸給規則第二條ノ規定ニ依ル加俸ニ關スル件

大正九年四月二十日 愛知縣令第七十八號

明治三十六年十月縣令第七十五號公立學校雇職員俸給規則第二條ノ規定ニ依ル加俸ハ當分ノ内在職年數ニ拘ラス特ニ之ヲ給スルコトヲ得

附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●戰時若ハ事變ニ際シ召集セラレタル公立學校雇職員等ニ關スル件

昭和十二年八月二十日 教第三九五五號學務部長通牒

本日縣令第四十七號ヲ以テ明治三十七年二月縣令第六號公立學校雇職員退職ニ關スル件中改正相成候處右ハ戰時若ハ事變ニ召集セラレタル雇職員ノ當然退職トナリタル舊規定ヲ改メ現職ノ儘應召セシムル様改正セラレタルモノニ付其ノ俸給ニ關シテハ公立學校雇職員俸給規則第九條ノ二ノ規定ニ依リ準用セラレル公立學校雇職員俸給支給細則第五條ノ規定ニ依ラレ度尙市町村立小學校代用教員及公立青年學校指導員ニ付テハ左ノ通ニ付御了知相成



度爲念

- 一 市町村立小學校代用教員ニ付テハ退職ノ手續ヲ進メズ代用教員ノ現職ノ儘應召セシメ其ノ俸給ハ小學校令施行細則第七十八條ノ規定ニ依ルコト
- 二 公立青年學校指導員ニ付テハ解職ノ手續ヲ進メズ指導員ノ現職ノ儘應召セシメ其ノ手當ニ付テハ昭和十年八月訓令第五十一號公立青年學校職員ノ手當旅費並ニ諸給與ニ關スル件ニ依ルコト(本訓令ニ依リ公立學校職員俸給規則第九條ノ二ノ規定ヲ準用セラレ更ニ公立學校職員俸給支給細則第五條ノ規定ヲ準用セラレ)

### 公立學校職員旅費並諸給與規則

大正三年十一月十一日  
愛知縣令第七十一號

改正 大正五年八月縣令第六七號、九年五月第九五號、七月第一一五號、一一年三月第二一號、一二月第八六號、一三年九月第一〇七號、昭和三年八月第七六號、四年九月

〔愛知青〕

第七五號、五年五月第四〇號、六年二月第二七號、七年一〇月第八九號、一〇年四月第三二號

#### 第一章 旅費

第一條 旅費ハ鐵道貨、船貨、車馬貨、宿泊料、日當、轉任手當及移轉料ノ七種トス但轉任手當及移轉料ハ轉任ノ場合ニ限りテ之ヲ支給ス  
旅費ハ順路ニ依リテ之ヲ支給ス但シ公務ノ都合上順路ニ依リテ旅行シ難キ場合ニ於テハ其ノ現ニ經過シタル通路ニ依ル

第二條 鐵道貨(軌道條例ニ依ル鐵路ヲ含ム)ハ實際ノ料金ニ依リ左ノ區別ニ從ヒ旅客運賃ヲ支給ス

- 一、勤任官ト同一ノ待遇ヲ受クル者、奏任文官及奏任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者ニ在リテハ一等ノ運賃(一等車ノ連結ナキ路線ニ在リテハ二等ノ運賃)其他ノ者ニ在リテハ二等ノ運賃
- 二、運賃ノ等級ヲ二階級ニ區分シタルモノニ在リテハ上級ノ運賃其ノ等級ヲ設ケサルモノニアリテハ其ノ乘車ニ要スル運賃
- 三、特別ノ必要ニ依リ普通急行列車又特別急行列車ニ乘車シタル場合ニ於テハ其ノ乘車ニ要スル急行料金

船貨ハ鐵道貨ノ例ニ準シ之ヲ計算支給ス

車馬貨、宿泊料、日當、移轉料ハ公立大學及大學豫科ノ職員ニシテ勤任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者奏任文官及奏任文官若クハ判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者ニハ第一號表其ノ他ノ者ニハ第二號表、師範學校、中學校、高等女學校、實業學校、青年學校、盲學校及聾啞學校ノ職員ニシテ勤任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者奏任文官及奏任文官若クハ判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者ニハ第三號表其ノ他ノ者ニハ第四號表ニ掲グル所ニ從ヒ定額ニ依リ之ヲ支給ス

第一號表

等	級	種	別	縣内		縣外		日		移		轉	
				車馬	賃一里	車馬	賃一里	當一日	一里以上	十里以上	二十里以上		
勤任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者				九十錢	一圓二十錢八	九十錢	一圓二十錢八	四十二圓六	四十八圓	八十圓	九十圓	一百圓	一百四十圓
奏任文官及奏任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者	五等以上ノ者			六十錢	九十錢六	六十錢	九十錢六	四十五圓	四十六圓	五十圓	六十圓	七十圓	八十圓
奏任文官及奏任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者	六等以下ノ者			六十錢	九十錢五	六十錢	九十錢五	四十四圓	四十五圓	四十九圓	五十四圓	六十圓	七十圓
判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者	五級以上ノ者			五十錢	七十五錢四	五十錢	七十五錢四	四十三圓	四十四圓	四十八圓	五十三圓	六十圓	七十圓
判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者	六級以下ノ者			五十錢	七十五錢三	五十錢	七十五錢三	四十二圓五	四十三圓	四十七圓	五十二圓	六十圓	七十圓

〔愛知青〕

第二號表

等	級	種	別	縣内		縣外		日		移		轉	
				車馬	賃一里	車馬	賃一里	當一日	一里以上	十里以上	二十里以上		
年俸三千圓以上ノ者				六十錢	九十錢	六十錢	九十錢	四圓七	四圓	三十五圓	四十圓	五十圓	
年俸二千圓以上三千圓未滿ノ者				六十錢	九十錢	六十錢	九十錢	四圓六	四圓	三十四圓	三十九圓	四十四圓	
年俸千圓以上二千圓未滿及俸給月額百十圓以上ノ者				五十錢	七十五錢	五十錢	七十五錢	四圓五	四圓	三十圓	三十五圓	四十圓	
俸給月額百十圓未滿ノ者				五十錢	七十五錢	五十錢	七十五錢	四圓四	四圓	二十五圓	三十圓	三十五圓	

第三號表

等	級	種	別	縣内		縣外		日		移		轉	
				車馬	賃一里	車馬	賃一里	當一日	一里以上	十里以上	二十里以上		
				五十錢	七十五錢	五十錢	七十五錢	四圓	四圓	十五圓	二十圓	二十五圓	

#### 第二章 教職員



勅任文官ト同一ノ待遇ヲ受ケル者	九十錢	一圓二十錢	七圓	十一圓	五圓	七圓	六十五圓	七十圓	九十圓
奏任文官及 奏任文官ト 同一ノ待遇 ヲ受ケル者	六十錢	九十錢	五圓	七圓	四圓	五圓	三十五圓	四十圓	五十圓
六等以下ノ者	六十錢	九十錢	四圓	六圓	三圓	四圓	三十圓	三十五圓	四十圓
五級以上ノ者	五十錢	七十五錢	三圓	四圓	二圓	三圓	二十五圓	三十圓	三十五圓
六級以下ノ者	五十錢	七十五錢	二圓五十錢	四圓	二圓	二圓五十錢	十五圓	二十圓	二十五圓

第四號表

等 級	種 別	車 馬		貨 一里		宿 泊		料 一 夜		日 當		移 轉		料
		縣 內	縣 外	縣 內	縣 外	縣 內	縣 外	一 里 以 上	十 里 以 上	二 十 里 以 上	一 里 以 上	十 里 以 上	二 十 里 以 上	
年俸三千圓以上ノ者		六十錢	九十錢	五圓	七圓	四圓	五圓	三十五圓	四十圓	五十圓	三十五圓	四十圓	五十圓	
年俸二千圓以上三千圓未満ノ者		六十錢	九十錢	四圓	六圓	三圓	四圓	三十圓	三十五圓	四十圓	二十五圓	三十圓	三十五圓	
年俸千圓以上二千圓未満及俸給月額百十圓以上ノ者		五十錢	七十五錢	三圓	四圓	二圓	三圓	二十五圓	三十圓	三十五圓	二十圓	二十五圓	三十圓	
俸給月額五十圓以上百十圓未満ノ者		五十錢	七十五錢	二圓五十錢	四圓	二圓	二圓五十錢	十五圓	二十圓	二十五圓	二十圓	二十五圓	三十圓	
俸給月額五十圓未満ノ者		五十錢	六十錢	二圓	三圓	一圓	二圓	十圓	十五圓	二十圓	十圓	十五圓	二十圓	

第二條ノ二 鐵道旅行ニハ鐵道貨、水路旅行ニハ船貨、陸路旅行ニハ車馬貨ヲ支給ス

第三條 車馬貨ハ其ノ路程ヲ合算シテ之ヲ支給ス但通算上一里未満ノ端數ヲ生シタルトキハ切捨トス

〔愛知青〕

〔愛知青〕

計算上一軒、一海里未満ノ端數ヲ生シタルトキハ切捨トス

第五條 路程ノ計算ハ縣内陸路ハ縣ノ定メタル里程表、縣外陸路ハ其ノ縣ノ定メタル里程表若クハ郵便線路、鐵道ハ鐵道省若クハ鐵道會社ノ定メタル里程、水路ハ海軍省水路部ノ定メタル海里ニ依ル但里程表、郵便線路、鐵道里程表、海里表ニ示サ、レモノハ鐵道會社又ハ地方官署公署等ノ證明シタルモノニ依ル

第六條 一市町村内ニテ乘車、下車又ハ乗船上陸シタルトキハ里程元標ト停車場、波止場間ノ里程ハ之ヲ算入セス

第七條 旅費支給ニ關シテハ旅行日數ハ出張地ニ於ケル滞在日數及途中已ムテ得サル事由ノ爲メ要シタル日數ヲ除ク外鐵道旅行ハ三百三十軒、水路旅行ハ百海里、陸路旅行ハ十二里ニ付一日ノ割合ヲ以テ通算シタル日數ヲ超過スルコトヲ得ス但一日未満ノ端數ハ之ヲ一日トス

第八條 轉任手當ハ轉任ニ際シ支給スル鐵道貨、船貨、車馬貨、宿泊料、日當ノ額ニ相當スル金額ヲ支給ス

第九條 移轉料支給ニ關スル里程ノ計算ハ第四條第二項ノ例ニ依ル

第十條 新ニ任用スル者ニハ第一條ニ定メタル所ニ依リ其ノ居住地ヨリ新ニ任地ニ至ル本職相當ノ旅費ヲ支給ス

第十一條 私事ノ爲メ任地又ハ居住地以外ニ滞在スル者轉任ヲ命セラレ又ハ新ニ任用セラレ滞在在在ヨリ赴任スル場合ニ於テ、滞在在在ヨリ新任地ニ至ル旅費額、舊任地又ハ居住地ヨリ新任地ニ至ル旅費額ヨリ多キトキハ舊任地又ハ居住地ヨリ新任地ニ至ル旅費額ヲ支給ス

第十二條 前項ノ規定ハ私事ノ爲メ任地以外ニ滞在スル者滞在在在ヨリ旅行スル場合ニ之ヲ準用ス

第十三條 特別ノ事情アル場合ハ定額ノ旅費額ヲ減少シ又ハ旅行中ノ總額ヲ定メテ之ヲ支給スルコトヲ得

第十四條 陸路六里未満、鐵道七十八軒未満、水路三十海里未満ノ旅行ニアリテハ公務ノ都合ニ依リ宿泊シタル場合ヲ除ク外其ノ支給スヘキ日當ハ定額ノ半額トス

第十五條 一旅行ノ經路相跨ルトキハ鐵道ハ三十三軒、水路ハ五海里ヲ以テ陸路一里ト看做シ前項ノ規程ヲ準用ス

第十一條 (削除)

第十二條 第十條ノ場合ニ於テ縣立學校ニ在リテハ學校長其ノ他ノ學校ニ在リテハ管理者ニ於テ專行スヘシ

第十三條 旅行ノ兩年度ニ跨ルトキハ各年度毎ニ區別シテ計算スヘシ但鐵道旅行若クハ水路旅行ニシテ其ノ區別判明ナラサルトキハ最近ノ到着地ヘ著シタル日ヲ以テ其路程ヲ區別シ計算ス

第十四條 前項ノ場合ニ於テ陸路ニ一位未満ノ端數ヲ生シタルトキハ其端數ハ後年度ニ通算スルモノトス

第十五條 旅行中廢職、退職又ハ休職トナリタル者ニハ前職若クハ本職相當ノ割ヲ以テ舊任地マテノ旅費ヲ支給ス但刑事裁判又ハ懲戒處分ニ依リテ失職又ハ免職セラレタル者ハ此ノ限リニ非ラス但旅費ノ計算ハ第六條ノ定ムル所ニ依ル

第十六條 旅行中死亡シタル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ準シ旅費ニ相當スル金額ヲ遺族ニ支給ス

第十七條 事務引繼廢務整理等ノ爲メ廢職者若クハ退職者ニ旅行ヲ命スルトキハ前職相當ノ旅費ヲ支給ス

第十八條 鐵道ニ依リ旅行スル場合ニ於ケル發着詳ハ別ニ之ヲ定ム

第十九條 在勤學校所在地ノ市町村内ノ出張ニシテ二里以上ニ涉ルトキハ左表ニ依リ日當ヲ支給ス

種 別	日 當
勅任文官ト同一ノ待遇ヲ受ケル者	四圓
奏任文官及奏任文官ト同一ノ待遇ヲ受ケル者又ハ年俸給與ノ雇員	二圓五十錢
列任文官ト同一ノ待遇ヲ受ケル者及 公立大學大學教員	一圓五十錢



月俸八十五圓未満ハ雇職員 其ノ他ノ者	八 十 錢
勅任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者 奏任文官及奏任文官ト同一ノ待遇ヲ 受クル者	三 圓 四
判任官ト同一ノ待遇ヲ受クル者	八 十 錢
其ノ他ノ者	六 十 錢

第十七條 (郡)市町村、町村學校組合立學校ニ在リテ本章ノ規定ニ依リ難キ事情アルトキハ管理者ニ於テ知事ノ認可ヲ經別ニ規定ヲ設ケルコトヲ得

第二章 諸給與

第十八條 職務ノ爲メ傷損ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リタル者ニハ相當ノ療治料ヲ給與スヘシ  
前項ノ場合ニ於テ縣立學校ニ在リテハ知事ノ認可ヲ經ヘク其ノ他ノ學校ニ在リテハ管理者ニ於テ專行スルモノトス  
第十九條 宿直又ハ徹夜勤務シタル者ニハ縣立學校ニ在リテハ知事ニ於テ其ノ他ノ學校ニ在リテハ管理者ニ於テ定ムル所ノ賄料若クハ現品ヲ給與スヘシ

附則

第二十條 本令ハ市町村立小學校及小學校ニ類スル各種學校ニ適用セス  
第二十一條 本令ハ大正三年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (大正九年縣令第五十五號)

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ勅任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者ニ對

〔愛知青〕

シテハ大正九年六月十八日ヨリ之ヲ施行ス  
大正九年六月調令第五十號ハ本令ニ依リ支給ヲ受クル者ニ對シテハ之ヲ適用セス

〔愛知青〕

改正 昭和七年一〇月縣令第九〇號、一〇年四月第三三號  
公立學校職員旅費減額支給規程左ノ通定ム

公立學校職員旅費減額支給規程  
第一條 公立學校職員旅費ハ當分ノ内本令ニ依リ減額支給ス  
第二條 大正三年十一月縣令第七十一號公立學校職員旅費並諸給與規則(以下之ヲ旅費並諸給與規則ト稱ス)第二條第三項第一號表乃至第四號表ノ額ハ別表第一號表乃至第四號表ノ額ニ減額支給ス  
第三條 旅費並諸給與規則第十六條ノ支給額ヲ左表ノ額ニ減額支給ス

公立大學 豫科	種 別	日 當
師範學校、中學校、 高等女學校、實業學 校、青年學校、盲學 校、聾啞學校	勅任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者	三圓五十錢
	奏任文官及奏任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者又ハ年俸給與ノ雇職員	二圓十錢
	判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者及月俸八十五圓以上ノ雇職員	一圓三十錢
	月俸八十五圓未満ノ雇職員	八 十 錢
	其ノ他ノ者	六 十 錢
	勅任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者	二圓九十錢
公立大學 豫科	奏任文官及奏任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者	一圓五十錢
	判任官ト同一ノ待遇ヲ受クル者	八 十 錢
	其ノ他ノ者	六 十 錢

附則  
本令ハ昭和五年七月十五日ヨリ之ヲ適用ス

●公立學校職員旅費減額支給規程

昭和五年八月一日  
愛知縣令第五十三號



第一號表

等	種	車馬賃		宿泊料		日當		移		轉	
		縣内	縣外	縣内	縣外	縣内	縣外	縣内	縣外	縣内	縣外
勅任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者	七十五錢以上ノ者	七十五錢	一圓	七圓	十圓	五圓十錢	七圓	八圓十錢	八十圓	百圓	百四十圓
	六十錢以上ノ者	六十錢	七十五錢	五圓十錢	七圓	四圓二十錢	五圓十錢	五十圓	七十圓	百圓	百四十圓
	六等以下ノ者	六十錢	七十五錢	四圓二十錢	六圓	三圓四十錢	四圓二十錢	四十圓	六十圓	百圓	百四十圓
	五級以上ノ者	五十錢	六十錢	三圓四十錢	四圓七十錢	二圓六十錢	三圓	三十圓	四十圓	六十圓	百圓
	六級以下ノ者	五十錢	六十錢	三圓四十錢	四圓七十錢	二圓六十錢	三圓	三十圓	四十圓	六十圓	百圓
	六級以下ノ者	五十錢	六十錢	三圓	四圓	二圓	三圓	二十四圓	三十六圓	六十圓	六十圓

第二號表

等	種	車馬賃		宿泊料		日當		移		轉	
		縣内	縣外	縣内	縣外	縣内	縣外	縣内	縣外	縣内	縣外
年俸三千圓以上ノ者	六十錢	六十錢	七十五錢	四圓二十錢	六圓	三圓四十錢	四圓二十錢	三十五圓	四十圓	五十圓	五十圓
	六十錢	七十五錢	三圓四十錢	五圓十錢	二圓六十錢	三圓四十錢	三十圓	三十五圓	四十圓	五十圓	
	六十錢	七十五錢	三圓四十錢	五圓十錢	二圓六十錢	三圓四十錢	三十圓	三十五圓	四十圓	五十圓	
	六十錢	七十五錢	三圓四十錢	五圓十錢	二圓六十錢	三圓四十錢	三十圓	三十五圓	四十圓	五十圓	
	六十錢	七十五錢	三圓四十錢	五圓十錢	二圓六十錢	三圓四十錢	三十圓	三十五圓	四十圓	五十圓	
	六十錢	七十五錢	三圓四十錢	五圓十錢	二圓六十錢	三圓四十錢	三十圓	三十五圓	四十圓	五十圓	

第三號表

等	種	車馬賃		宿泊料		日當		移		轉	
		縣内	縣外	縣内	縣外	縣内	縣外	縣内	縣外	縣内	縣外
勅任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者	七十五錢以上ノ者	七十五錢	一圓	六圓九十錢	九圓五十錢	四圓九十錢	六圓六十錢	六十五圓	七十圓	九十圓	
	六十錢以上ノ者	六十錢	七十五錢	五圓	六圓五十錢	四圓	四圓七十錢	三十五圓	四十圓	五十圓	
	六等以下ノ者	六十錢	七十五錢	四圓	五圓五十錢	三圓	三圓八十錢	三十圓	三十五圓	四十圓	
	五級以上ノ者	五十錢	六十錢	三圓	四圓五十錢	二圓十錢	三圓八十錢	二十五圓	三十圓	三十五圓	
	六級以下ノ者	五十錢	六十錢	三圓	四圓五十錢	二圓十錢	三圓八十錢	二十五圓	三十圓	三十五圓	
	六級以下ノ者	五十錢	六十錢	二圓五十錢	三圓六十錢	一圓八十錢	二圓	十五圓	二十圓	二十五圓	

〔愛知青〕

第四號表

等	種	車馬賃		宿泊料		日當		移		轉	
		縣内	縣外	縣内	縣外	縣内	縣外	縣内	縣外	縣内	縣外
勅任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者	七十五錢以上ノ者	七十五錢	一圓	六圓九十錢	九圓五十錢	四圓九十錢	六圓六十錢	六十五圓	七十圓	九十圓	
	六十錢以上ノ者	六十錢	七十五錢	五圓	六圓五十錢	四圓	四圓七十錢	三十五圓	四十圓	五十圓	
	六等以下ノ者	六十錢	七十五錢	四圓	五圓五十錢	三圓	三圓八十錢	三十圓	三十五圓	四十圓	
	五級以上ノ者	五十錢	六十錢	三圓	四圓五十錢	二圓十錢	三圓八十錢	二十五圓	三十圓	三十五圓	
	六級以下ノ者	五十錢	六十錢	三圓	四圓五十錢	二圓十錢	三圓八十錢	二十五圓	三十圓	三十五圓	
	六級以下ノ者	五十錢	六十錢	二圓五十錢	三圓六十錢	一圓八十錢	二圓	十五圓	二十圓	二十五圓	



●公立學校職員鐵道ニ依リ旅行スル場合ニ於ケル發著驛指定

昭和三年八月十七日  
愛知縣訓令第四十三號

改正 昭和三年一〇月訓令第五四號、四年六月第三〇號、一〇月第四二號、五年三月第一七號

公立學校 市町村 町村學校組合  
市町村立學校

公立學校職員鐵道ニ依リ旅行スル場合ニ於ケル發著驛別表ノ通指定ス

附則 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

別表

發著驛指定表

郡市名	町村名	驛名(停留所ヲ含ム)
名古屋市		名古屋(東海道線)但シ南區在勤者ニシテ東海道線ニ依ル場合ハ熱田驛 名古屋(關西線) 千種(中央線) 柳橋(名古屋鐵道線) 堀川(瀬戸電鐵線) 神宮前(愛知電鐵線) 新尾頭(下之一色電軌線) 豊橋(東海道線)

〔愛知青〕

丹羽郡	葉栗郡	中島郡	海部郡
布袋町 城東町 犬山町 扶桑町 古知野町 千倉町 岩倉町	木曾川町	稻澤町 大里村 大和村 起原町 萩原町 祖父江町	津島町 佐織村 佐屋村 彌富寺村 甚目寺村
布袋 善師野 大野山 下野野 古知野 元小山 岩倉	木曾川(東海道線) 玉ノ井(名古屋鐵道線)	稻澤(東海道線) 國府宮(名古屋鐵道國府宮線) 大佐士 妙興寺(名古屋鐵道國府宮線) 馬引(同) 起原 萩原 森上	津島(名古屋鐵道津島線) 新津島(名古屋鐵道津島線) 勝島(名古屋鐵道津島線) 勝高(名古屋鐵道津島線) 彌富 甚目寺

〔愛知青〕

豊橋市	岡崎市	一宮市	愛知郡	東春日井郡	西春日井郡
豊橋(愛知電鐵線) 吉田(豊川鐵道線) 新豊橋(渥美電鐵線)	岡崎(東海道線) 岡崎新(愛知電鐵西尾線) 東岡崎(愛知電鐵本線) 康生町(三河鐵道線)	尾張一宮(東海道線) 東一宮(名古屋鐵道一宮線) 新一宮(名古屋鐵道尾西線) 一宮(名古屋鐵道蘇東線)	鳴海町 豊明村 阿野	高藏寺村 鳥居松村 聯隊前 横山	西枇杷島町 北里村 西春村 新川町 須ヶ口
			鳴海 豊明 阿野	高藏寺 鳥居松 聯隊前 横山	西春 北里 西春 新川 須ヶ口

知多郡	碧海郡	幡豆郡
鬼崎村 旭幡村 八幡村 横須賀村 上野村	安井村 櫻井村 大濱町 新川町 高濱町 刈谷町 刈谷町 知立町 高岡村 上郷村 富土村 矢作村	蒲池村 新舞子 古見 尾張横須賀 加家
蒲池 新舞子 古見 尾張横須賀 加家	安井(東海道線) 今安(東海道線) 南安(東海道線) 碧海(東海道線) 大濱 新川 高濱 刈谷(東海道線) 刈谷(東海道線) 知立(東海道線) 新立(東海道線) 若林(愛知電鐵線) 鴉川(三河鐵道岡崎支線)	西尾(愛知電鐵西尾線) 西尾(碧海電鐵線) 上横須賀 三河一色 寺津 三河平坂(愛知電鐵西尾線) 平坂(愛知電鐵西尾線)



吉田町	吉良吉田(愛知電鐵西尾線) 三河吉田(三河鐵道線)
額田郡 岩津町	岩津
西加茂郡 翠母町	翠母
石野村	狼投
西中金	西中金
東郷村	長篠
長篠村	鳳來寺口(鳳來寺鐵道線) 鳳來寺口(田口鐵道線)
鳳來寺村	玖老勢
寶飯郡 一宮村	三河一宮
小坂井町	小坂井
高師村	高師
田原町	三河田原
温美郡	

●公立青年學校職員ノ手當、旅費  
並諸給與ニ關スル件

昭和十年八月二十日  
愛知縣訓令第五十一號

公立學校職員制及公立學校職員名稱規程ニ依ル職員ノ外公立青年學校ニ在ル職員ノ手當、旅費並諸給與ニ關シテハ別ニ定ムルモノノ外明治三十六年十縣令第七十五號公立學校職員俸給規則及大正三年十一月縣令第七十一

〔愛知青〕

及待遇職員等ノ恩給請求手續

大正十二年十月三十日  
愛知縣令第百號

敬正 大正十二年二月縣令第一〇五號、昭和八年二月第一〇一號、一三年六月第四七號縣經濟ノ支辨ニ屬スル教育職員、警部補、巡查及待遇職員ノ恩給請求手續ニ關スル件左ノ通定ム

第一條 恩給請求書類ハ概ニ別紙様式(第一號乃至第十四號書式)ニ準シ作成スヘシ

第二條 本廳ニ於テ給與ノ裁定ヲ爲シタルトキハ恩給證書又ハ裁定通知書ヲ作り請求者ニ之ヲ交付ス

第三條 本廳ニ於テ大正十二年八月勅令第三百六十九號恩給給與規則第三十五條ノ規定ニ依リ誤謬ヲ訂正シ又ハ裁定ノ改訂ヲ爲シタル場合ニ於テハ之ヲ權利者ニ通知シ又ハ新證書ヲ交付ス

第四條 大正十二年八月勅令第三百六十九號恩給給與規則第三十六條第一項ノ規定ニ依リ恩給證書又ハ裁定通知書ノ再交付ヲ申請セムトスル者ハ概ニ別紙様式(第十五號書式)ニ準シ再交付申請書ヲ作り左ノ書類ヲ添付シ之ヲ本廳ニ差出スヘシ

一、恩給證書又ハ裁定通知書ヲ亡失シタルモノナルトキハ亡失ノ顛末及亡失後ニ於テ執リタル措置ヲ記載シタル書類並其ノ事實ヲ證明スルニ足ルヘキ警察官署等ノ公ノ證明書但シ裁定通知書ヲ亡失シタル場合ニ於テハ警察官署等ノ公ノ證明ヲ要セス

二、恩給證書又ハ裁定通知書ヲ毀損シタルモノナルトキハ其ノ顛末及毀損シタル恩給證書又ハ裁定通知書

第四條ノ二 大正十二年八月勅令第三百六十九號恩給給與規則第三十六條第二項ノ規定ニ依リ恩給證書ノ再交付ヲ申請セントスル者ハ概ニ別紙様式

公立學校職員旅費並諸給與規則ヲ準用ス

●公立青年學校職員慰勞金給與ニ關スル件

昭和十年十二月二十日  
社教第二八九四號學務部長通牒

標記事項ニ關シテハ學校長ノ意見ヲ聽キ管理者之ヲ專行シ知事ニ開申相成度

●縣經濟ノ支辨ニ屬スル教育職員

(第十五號書式ノ二)ニ準シ再交付申請書ヲ作り左ノ書類及證書郵送料(郵便切手十四錢)ヲ添附シ之ヲ本廳ニ差出スヘシ

一 申請者本人ノ最近ノ寫眞

二 恩給證書ヲ呈示ノ用ニ供スルコト困難ナル事由ヲ詳記シタル顛末書

前項ノ申請書ニハ現住所ノ警察官署、領事官其ノ他申請者ガ本人タルコトヲ知レル官公署ヨリ本人タルコトノ與書證明ヲ受クベシ

第一項第一號ノ寫眞ハ申請書ニ貼附シ前項ノ與書證明ヲ爲ス官公署ノ割印ヲ受クベシ

第五條 恩給法施行令第一條ニ規定スル恩給受給權調査票ハ別紙様式(第十六號書式)ニ準シ作成スヘシ

附則 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (昭和八年縣令第百一號)

本令ハ昭和八年十月一日ヨリ之ヲ適用ス但シ第二號書式ノ二、第三號書式ノ二、第十一號書式ノ二ノ改正ハ昭和九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

普通恩給請求書

年月日〇〇〇〇(職名)ヲ退職致候ニ付普通恩給ヲ給與相成度證據書類相添ヘ請求候也

退職當時ノ職名  
本籍地  
現住所

年月日  
愛知縣知事氏 名殿

氏 名印



備考 請求者ノ氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ  
第二號書式

普通恩給 請求書  
增加恩給

年月日〇〇〇(職名)ヲ退職致候ニ付普通恩給及增加恩給ヲ給與相成度證據書類相添ヘ請求候也

退職當時ノ職名  
本籍地  
現住所

年月日

愛知縣知事氏 名殿

氏 名印

備考 請求者ノ氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ  
第二號書式ノ二

傷病年金請求書

年月日〇〇〇(職名)ヲ退職致候ニ付傷病年金ヲ給與相成度證據書類相添ヘ請求候也

退職當時ノ職名  
本籍地  
現住所

年月日

愛知縣知事 殿

氏 名印

備考 請求者ノ氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ  
第三號書式

公務員又ハ普通恩給權者

右者 年月 日死亡候ニ付扶助料ヲ給與相成度證據書類相添ヘ請求候也

公務員又ハ普通恩給權者 氏 名

本籍地  
現住所

年月日

愛知縣知事氏 名殿

氏 名印

〔愛知青〕

備考 請求者ノ氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ  
第五號書式

扶助料請求書

右者 年月 日失權候ニ付扶助料ヲ給與相成度證據書類相添ヘ請求候也

前扶助料權者 氏 名

公務員又ハ普通恩給權者トノ身分關係  
本籍地  
現住所

年月日

愛知縣知事氏 名殿

氏 名印

備考 請求者ノ氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ  
第六號書式

一時恩給請求書

年月日〇〇〇(職名)ヲ退職致候ニ付一時恩給ヲ給與相成

第二章 教職員

增加恩給請求書  
年月日〇〇〇(職名)ヲ退職致候處在職中ノ傷痍(疾病)重症ニ赴キ候ニ付增加恩給ヲ給與改定相成度證據書類相添ヘ請求候也

退職當時ノ職名  
本籍地  
現住所

年月日

愛知縣知事氏 名殿

氏 名印

備考 請求者ノ氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ  
第三號書式ノ二

傷病年金請求書

年月日〇〇〇(職名)ヲ退職致候處在職中ノ傷痍(疾病)爾後重症ニ赴キ候ニ付傷病年金給與改定相成度證據書類相添ヘ請求候也

退職當時ノ職名  
本籍地  
現住所

年月日

愛知縣知事 殿

氏 名印

備考 請求者ノ氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ  
第四號書式

扶助料請求書

度證據書類相添ヘ請求候也

退職當時ノ職名  
本籍地  
現住所

年月日

愛知縣知事氏 名殿

氏 名印

備考 請求者ノ氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ  
第七號書式

一時扶助料請求書

右者 年月 日死亡候ニ付恩給法第八十一條ノ規定ニ依リ一時扶助料ヲ給與相成度證據書類相添ヘ請求候也

公務員又ハ普通恩給權者トノ身分關係  
本籍地  
現住所

年月日

愛知縣知事氏 名殿

氏 名印

備考 請求者ノ氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ  
第八號書式

一時扶助料請求書

公務員ノ職名 氏 名

右者 年月 日在職中死亡候ニ付恩給法第八十二條ノ規定ニ依



第二章 教職員

リ一時扶助料ヲ給與相成度證據書類相添へ請求候也

公務員トノ身分關係  
公務員トノ身分關係  
本籍地  
現住所  
年 月 日  
愛知縣知事氏 名殿  
氏 名印

備考 請求者ノ氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ

第九號書式

扶助料轉給請求書

停止中ノ扶助料權者 氏 名  
右者犯罪ニ因ル扶助料停止期間中扶助料ヲ轉給相成度證據書類相添へ請求候也  
公務員トノ身分關係  
本籍地  
現住所  
年 月 日  
愛知縣知事氏 名殿  
氏 名印

備考 請求者ノ氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ

第十號書式

扶助料停止請求書

停止セラルヘキ扶助料權者 氏 名  
右者 年 月 日以來所在不明ニ付扶助料ヲ停止相成度證據書類相添へ請求候也  
年 月 日  
愛知縣知事 殿  
氏 名印

〔愛知青〕

公務員トノ身分關係  
申請者 氏 名印  
年 月 日  
愛知縣知事氏 名殿

備考 請求者ノ氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ

第十一號書式

再審査請求書

年 月 日退職ニ因リ普通恩給及增加恩給ヲ給セラレ候處未  
タ傷喪(疾病)回復セサルヲ以テ再審査相成度證據書類相添へ請求  
候也  
退職當時ノ職名  
本籍地  
現住所  
年 月 日  
愛知縣知事氏 名殿  
氏 名印

備考 請求者ノ氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ

第十二號書式

再審査請求書

年 月 日退職ニ因リ傷病年金ヲ給セラレ候處未タ傷喪(疾  
病)回復セサルヲ以テ再審査相成度證據書類相添へ請求候也  
退職當時ノ職名  
本籍地  
現住所  
年 月 日  
愛知縣知事 殿  
氏 名印

〔愛知青〕

第十二號書式

備考 請求者ノ氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ

履歷書	退職當時ノ職名	氏 名印
年 月 日	記	事 官 公 署 名
年 月 日	記	事 官 公 署 名
年 月 日	記	事 官 公 署 名
年 月 日	記	事 官 公 署 名

備考

- 一、履歷書ハ其ノ在職シタル各府縣ノ數ニ應シ調製提出スヘシ
- 一、學歷、位記、勳記、賞與等ノ記載ヲ要セス
- 一、官職任免、轉任、陞等、昇給等ハ順ヲ逐ヒ間隙ナキ様ニ詳記スヘシ
- 一、退職ノ事由ヲ明記スヘシ

第十三號書式

現認證明書

公務員ノ職名

第二章 教職員

右者 年 月 日午前(後) 時 地ニ於テ(何)ニ從事中(何)ニ因  
リ(何)ノ事情ノ下ニ負傷(發病)シタルコトヲ現認候也  
住所又ハ職名  
現認者 氏 名印  
年 月 日

備考 本證明書ニハ傷病當時ノ狀況ヲ成ルヘク詳細ニ記載シ現認者多數  
アルトキハ二名以上連名スヘシ

第十四號書式

事實證明書

公務員ノ職名 氏 名  
右者 年 月 日ヨリ(何)ニ從事中 年 月 日(何)ノ狀況ニ於  
テ(何)ニ從事シ 月 日頃ヨリ(何)ノ症狀アルヲ訴へ爾後(何)ノ  
處置ヲ施シタリ  
右證明ス  
年 月 日 所屬長 氏 名印

備考 本證明書ニハ公務傷病ノ原因タル事實ヲ詳細ニ記載スヘシ

第十五號書式

恩給證書(裁定通知書)再交付申請書

- 一、恩給證書ノ番號(裁定通知書ノ番號)
  - 一、恩給證書ノ日附(裁定通知書ノ日附)
  - 一、恩給金額
- 右恩給證書(裁定通知書)ヲ亡失(毀損)致候ニ付再交付相成度申請



候也

退職當時ノ職名又ハ  
公務員トノ身分關係  
本籍地  
現住所  
氏  
名印

年月日  
愛知縣知事氏 名殿

第十五號書式ノ二

恩給證書再交付申請書

- 一 恩給證書ノ番號
- 一 恩給證書ノ日附
- 一 恩給金額

右恩給證書別紙願末書ノ通呈示ノ用ニ供スルコト困難ニ付再交付相成度申請候也

退職當時ノ官職名又ハ  
公務員トノ身分關係  
本籍地  
現住所

年月日  
愛知縣知事氏 名殿  
氏 名印

備考

- 一 寫眞貼附ノ下部ニ寫眞撮影年月日及生年月日ヲ記載スルコト
- 一 申請者ニ法定代理人アルトキハ其ノ法定代理人ノ寫眞並ニ法定代理人ナルコトノ記載アル戸籍抄本添附ノコト

第十六號書式

〔愛知青〕

恩給受給權調査票

- 一 恩給種別
- 一 恩給證書(記號)番號
- 一 受給者住所氏名
- 一 受給權調査期月 昭和 年 月

備考 用紙ハ成ル可ク半紙四ツ切大又ハ半折大トスルコト

● 縣經濟ノ支辨ニ屬スル恩給、退  
隱料、退職給與金、遺族扶助料  
支給手續

昭和五年十一月二十八日

愛知縣令第七十二號

縣經濟ノ支辨ニ屬スル恩給、退隱料、退職給與金、遺族扶助料支給手續左ノ通定ム

縣經濟ノ支辨ニ屬スル恩給、退隱料、退職給與金、遺族扶助料支給手續

- 第一條 縣經濟ノ支辨ニ屬スル左ノ給與金支給ハ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外本手續ノ定ムル所ニ依ル
- 一 大正十二年法律第四十八號恩給法ニ依ル給與金
- 二 大正十二年法律第八號縣吏員、職員、退隱料、退職給與金、遺族扶助料支給規則ニ依ル給與金

第二章 教職員

〔愛知青〕

一 年金タル給與金(普通恩給、增加恩給、傷病年金、退隱料及扶助料)ハ每支給期月一日以降但シ受給權ノ消滅又ハ停止等ニ依リ一期ニ滿テサル給與金ハ其ノ事實發生ノトキ

二 一時金タル給與金(一時恩給、一時扶助料、退職給與金、一時扶助金)ハ裁定通知書又ハ辭令接受ノトキ

第三條 新二年金ヲ受ケル者知事ヨリ別記第一號様式ノ支給原簿ノ送付ヲ受ケタルトキハ速ニ二年金請求ニ使用スル印章ヲ所定ノ箇所ニ押捺ノ上之ヲ返付スヘシ

第四條 年金タル給與金ノ支給ヲ受ケムトスル者ハ左ノ各號ノ規定ニ依ル

一 繼續シテ支給ヲ受ケル者ハ支給期月毎ニ別記第二號様式ノ請求書ニ居住地市區町村長ノ證書檢閱並受給權確認ノ證明(縣内居住者ニシテ元警察職員タリシ者及其ノ遺族ニ限リ所轄警察署長ノ證明ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得)ヲ受ケ之ヲ知事ニ差出スヘシ但シ縣内居住者ニ在リテハ職メ指定ヲ受ケタル縣金庫ニ請求書ヲ提出シ證書ヲ示シテ現金ノ支拂ヲ受ケヘシ

二 再就職ヲ爲シタル場合再就職前ノ請求ニ付テハ前號ノ規定ニ依リ再就職當月分ノ給與金ノ請求ニ付テハ別記第三號様式ノ請求書ニ所屬官公署長ノ證書檢閱、現任官職名及任用年月日ノ證明ヲ受ケ之ヲ知事ニ差出スヘシ

三 (削除)

四 受給權ノ消滅シタル場合ニ於テハ別記第五號様式ノ請求書ニ戸籍謄本ヲ添付シ第一號ノ規定ニ依リ證明ヲ受ケ之ヲ知事ニ差出スヘシ

前項第一號但書ノ規定ニ依ル縣内居住者二期分以上支給期月ヲ經過シタル後ニ於テ給與金ノ支給ヲ受ケムトスルトキハ當該請求書ヲ知事ニ差出







第二章 教職員

第二號様式 (用紙半紙) 繼續受給者請求書書式 (第四條第一號)

請求書

一金壹百五拾圓也

内譯

恩給種別	番	證	書	年	月	日	支給年額	請求額	請求額ニ對スル期間	備	考
何職員 (普通恩給)	第	年	年	月	月	日	六〇〇圓	一五〇〇〇	何年自何月		
何職員 (退隱料)	第	年	年	月	月	日					

右御渡相成度候也

年 月 日

住 所

氏

名

愛知縣知事宛

前書ノ金額正ニ領收候也

年 月 日

氏

名

支拂命令官

愛知縣知事宛

(受給權確認證明ハ本條白ニ記載スルヲ妨ケス以下同シ)

備考

- 一 請求書ハ前四行ノ空欄ヲ存シテ記載スルコト
- 二 支出年度ヲ異ニスルトキハ各別紙ニ認ムルコト
- 三 請求書ハ一期毎ニ認ムルコト
- 四 法定代理人ニ於テ請求ノ場合ハ其ノ住所、氏名及親權ヲ行フヘキ父母又ハ後見人等ノ關係ヲ明記スルコト

〔愛知青〕

元官職名(故官職氏名妻又ハ子何々)

何

某

〔愛知青〕

- 五 請求書餘白ニ記入スヘキ領收證ハ每期直接縣本金庫又ハ支金庫ニ於テ現金ヲ受領スヘキ場合ニ限り記入スルコト
- 六 領收證ニ押捺スヘキ印章ハ請求書ニ用ヒタルモノト同一ナルコト
- 七 請求書ニ押捺スヘキ印章ハ最初支給原簿ニ押捺シタルモノト同一ナルコト
- 八 檢閲證明書書式

右請求ニ付本人呈示ノ證書ヲ檢閲シ受給權アルコトヲ證明ス  
年 月 日

何市區町村長又ハ警察署長 氏

名

第三號様式 (用紙半紙) 再就職當月分請求書書式(第四條第二號)

請求書

一金五拾圓也

内譯

恩給種別	番	證	書	年	月	日	支給年額	請求額	請求額ニ對スル期間	備	考
何職員 (普通恩給)	第	年	年	月	月	日	六〇〇圓	五〇〇〇	何年何月分	何年何月何日何處何官職ニ再就職	

右御渡相成度候也

年 月 日

住 所

氏

名

愛知縣知事宛

備考

- 一 請求書ニ押捺セシモノト同一ノ印鑑ヲ添付スルコト
- 二 第二號様式備考ヲ準用ス

第四號様式 (削除)

第二章 教職員



第二章 教職員

第五號樣式 (用紙半紙) 受給權消滅ノ場合未請求金  
請求書書式(第四條第四號)  
請求書

一金壹百五拾圓也

內譯

恩給種別	證書年月日	支給年額	請求額	請求額ニ對スル期間	備考
何職員 (普通恩給) (退隱料) (扶助料)	第 年 月 號日	六〇〇圓	一五〇〇〇圓	何 年 自何月 至何月	(何年何月何日死亡(離婚)(婚姻)(成年) (何々))

右御渡相成度候也  
年 月 日

愛知縣知事宛

備考

一 第二號及第三號樣式備考ヲ準用ス

第六號樣式 (用紙半紙) 一時給與金請求書書式  
(第五條)  
請求書

元官職名(故官職氏名妻又ハ子何々)

何

某

〔愛知青〕

一金何百何拾圓也  
但一時恩給(退職給與金)(一時扶助料)(一時扶助金)  
別紙辭令又ハ裁定通知書寫ノ通  
右御渡相成度候也

年 月 日

〔愛知青〕

住 所

氏

名

愛知縣知事宛

備考

一 第二號及第三號樣式備考ヲ準用ス

第七號樣式 (用紙半紙) (第八條第一號)  
受恩給者再就職(退職)届

元官職名

何

某

恩給種別	證書年月日	異動事由
何職員 (普通恩給) (退隱料)	第 年 月 號日	口イ 何年何月何日何處(何校)何官職再就職 何年何月何日何處(何校)何官職再就職中ノ處退職

右届出候也

年 月 日

住 所

氏

名

愛知縣知事宛

第八號樣式 (用紙半紙) (第八條第二號)  
受恩給權失格届

元官職名(故官職氏名妻又ハ子何々)

何

某

第二章 教職員



恩給種別	證書年月日	資格原因	並年月日
何職員 (普通恩給 (退隱料) (扶助料))	第 年 月 日	何年何月何日死亡(離籍)(婚姻)(成年)(何々)	

右届出候也  
年 月 日

愛知縣知事宛

備考

受恩給者死亡シ又ハ其ノ他ノ事由ニ依リ受給權ヲ失ヒタル場合ニ於テ之ヲ受クヘキ順位者ナキトキハ恩給證書ヲ本届書ニ添付シ返還スヘシ  
第九號様式 (用紙半紙) (第八條第三號)  
受恩給者住所變更届

元官職名(故官職氏名妻又ハ子何々)

恩給種別	證書年月日	舊受給場所	異動事由	新受給場所	住所
何職員 (普通恩給 (退隱料) (扶助料))	第 年 月 日	何 金 庫		何 金 庫	

右届出候也  
年 月 日

愛知縣知事宛

備考

〔愛知青〕

住所 氏

名

- 一 縣外居住者ハ受給場所ノ記載ヲ省略スルコト
  - 二 金庫ノミ變更ヲ要スル場合ハ住所欄ヲ省略スルコトヲ得
- 第十號様式 (用紙半紙) (第八條第四號)  
受恩給者改印届

〔愛知青〕

元官職名(故官職氏名妻又ハ子何々)

恩給種別	證書年月日	現受給場所	改印事由
何職員 (普通恩給 (退隱料) (扶助料))	第 年 月 日	何 金 庫	何年何月何日死亡又ハ何々

(本欄ニ市區町村長ノ證明アル印鑑ヲ貼付スルコト)  
右届出候也  
年 月 日

愛知縣知事宛

住所 氏

名



### 第三章 學校衛生

#### ●學校清潔方法ニ關スル件

昭和二年一月二十六日  
愛知縣訓令第二號

市町村 公立學校

大正十五年十二月 文部省訓令第二十六號ヲ以テ學校清潔方法改正セラレタルニ付之ニ準據シ其ノ清潔ノ實績ヲ舉グルニカメラルヘシ  
明治三十年三月訓令第二十二號ハ之ヲ廢止ス

#### ●學校身體檢查規程ノ實施ニ關スル件

昭和十二年四月十六日  
教第八九四號學務部長依命通牒

各市町村長 各學校長 各幼稚園長

今般文部省令第二號ヲ以テ學校身體檢查規程改正公布セラレタル處右ハ現下國民體位ノ情勢ニ鑑ミ學生生徒兒童ノ身體ヲ精密ニ檢查シ其ノ結果ニ基キテ養護鍛鍊ノ方法ヲ適切ナラシメ以テ身體強健ニシテ實優秀ナル國民ヲ育成セントスル趣旨ナルニ就テハ新規程ノ各條ニ付キ充分改正ノ要旨ヲ體シ左ノ事項遵守ノ上身體檢查ノ實施ヲ一層意圖アラシメ以テ體育尊重ノ實ヲ舉グ兒童生徒ノ體位向上ニ資スル様努メラレ度依命及通牒候也

一 學校當事者ハ身體檢查ノ施行ニ際シ検査場ノ設備検査用器械器具ノ整備適當ナル補助者ノ選定等必要ナル諸準備ニ關シ遺漏ナキヲ期スルコト

二 身體検査中身長、體重、胸圍、坐高ノ測定ハ毎年四月ニ施行シ其ノ他ノ事項ハ六月末日迄ニ施行スルコト

### 第三章 學校衛生

- 三 學校身體檢查規程(以下規程ト稱ス)第五條第十四號ノ検査ハ一日百人ヲ超エザルコト
- 四 學校醫、學校齒科醫ハ規程ノ各條ニ從ヒ出來得ル限り検査ノ精確ヲ期シ結果ノ綜合考察ニ充分意ヲ用ヒ「要養護者」ノ發見ニ努ムルコト
- 五 身體検査ヲ施行セントスルトキハ豫メ保護者ヨリ本人ノ既往症又ハ身體検査ニ關シ精査ヲ要スル希望事項ヲ聴取スルコト
- 六 身體検査施行方法ニ關シテハ規程第五條ノ各號ニ依ルノ外左ノ各項ニ留意スルコト
  - (イ) 榮養狀態ノ判定ニ際シ必要アル場合ハ適當ナル榮養指數其ノ他ノ判定標準ヲ參考トシテ使用スルモ妨ゲナキコト
  - (ロ) 脊柱ノ「カリエス」ノ診査ニ際シテハ其ノ可動性、壓痛點等ニ注意スルコト
  - (ハ) 視力測定ノ距離ハ五米ヲ適當トスルモ検査場ノ明暗ニヨリ距離ヲ適當ニ短縮スルコト(補助者ニ於テナス場合ハ校醫ノ指揮ヲ承ケルコト)
  - (ニ) 屈折異常ノ検査ニ際シテハ少クとも檢眼「レンズ」等ヲ用ヒ就中近視ニ就テハ裸眼視力一・〇ニ達セザルモノニ付キ之ヲ行フコト
  - (ホ) 聴力ハ辨カナル室ニ於テ成ルベク耳語法(二桁ノ數字又ハ地名ヲ用フ)ヲ用ヒ左右各別ニ検査スルコト
  - (ヘ) 視力、屈折異常、聴力ハ尋常小學校第二學年兒童ニ對シテモ之ヲ實施スルコト
- 七 身體検査ヲ終了シタルトキハ左ノ各項ニ留意シ検査ノ結果ヲ有效ニ利用スルコト
  - (イ) 検査ノ結果ハ之ヲ集計整理シ統計的觀察ヲナスト共ニ本人ニ對シ



- 充分其ノ身體ノ特徴ヲ自覺セシメ進ンテ健康ニ關スル生活ノ指導ニ依リ自發的ニ體位ノ向上ニ努メシムルコト
- (ロ) 検査ノ結果ヲ本人又ハ保護者ニ通知スル場合ハ身長、體重、胸圍、坐高等ハ夫々全國又ハ他ノ平均數等ト比較對照スルト共ニ昭和五年本縣制定ノ年齡別、身長別、體重、胸圍、判定表ノ評語ヲ用ヒテ參考ニ資セシメ又疾病異常ヲ有スル者ニ付テハ治療矯正ノ要否、榮養ノ改善、運動、實施上ノ注意等成ルベク具體的事項ヲ示シ注意ヲ促スコト
- (ハ) 學校ニ於テハ必要ニ應ジ健康相談、豫防處置等ノ施設ヲ實施スルノ外養護學級、養護寮落、學校給食其ノ他必要ナル保健養護ノ施設ヲ行フコト
- 八 小學校ニ於テハ毎年其ノ年四月ニ就學スベキ兒童ノ身體検査ヲ施行スルコト
- 九 前項ノ身體検査ニ關シテハ左ノ各項ニ留意スルコト  
 毎年一月中ニ施行スルヲ本體トスルコト
- (ロ)(イ) 検査項目ハ概ネ(一)既往症(二)眼疾(三)耳疾(四)榮養(五)鼻及咽喉(六)其ノ他ノ疾病及異常特ニ傳染性疾患ノ有無等ニ付キ検査シ其ノ狀態ニ依リ榮養ノ改善、疾病及異常ノ治療、矯正、就學猶豫、就學免除等ニ關スル注意ヲ與フルコト
- 一〇 學校幼稚園ノ職員、備人ニ對シ毎年四月又ハ五月ニ眼耳其ノ他ノ疾病及異常特ニ結核性疾患ニ付キ身體検査ヲ施行スルコト
- 一一 前項ノ身體検査ヲ施行シタルトキハ學校長ハ其ノ翌月末日迄ニソノ結果ヲ知事ニ報告スルコト
- 一二 青年學校ニ於テモ規程ニ依リ必ズ實施ヲ要スルニ付キ學校醫ヲ缺ク青年學校ニ在リテハ至急學校醫設置手續ヲトルコト

〔愛知青〕

進テ左ノ通牒ハ廢止ニ付御承相成度

大正六年九月二十一日	身體検査施行ニ關スル注意事項ノ件
學第七五二四號	
大正八年四月二十四日	學生々徒身體検査表送達方ニ關スル件
學第三八六九號	
大正十年二月十八日	兒童就學前身體検査施行ノ件
學第九二二五號	
昭和二年三月二十九日	學生々徒兒童身體検査中改正ニ付注意ノ件
學第一五一七號	
昭和二年三月二十九日	發育概評決定標準ノ件
學第一五一七號	
昭和四年四月十二日	兒童生徒身體検査ニ關スル件
教第二六七〇號	
昭和四年五月二十四日	同 件
教第二六七〇號	
昭和五年四月十一日	同 件
教第二〇五一號	
昭和八年四月七日	同 件
教第一七一七號	

● 公立私立學校幼稚園「トラホーム」  
 ム 豫防規程

改正 昭和一〇年四月訓令第三十二號

昭和四年七月十二日 愛知縣訓令第三十二號

市町村長 公立私立學校長 公立私立幼稚園長

公立私立學校幼稚園「トラホーム」豫防規程左ノ通定ム

公立私立學校幼稚園「トラホーム」豫防規程

第一條 學校長幼稚園長ハ職員生徒兒童幼童並使徒人ヲシテ毎年四月九月

ノ二回學校醫(所醫)ノ「トラホーム」檢診ヲ受ケシムヘシ

第二條 學校長幼稚園長ハ「トラホーム」患者ニ對シ第一號様式ニ依リ治療

第一號様式 (表 面)

第 號		トラスホーム治療票	
住	學	所	年

〔愛知青〕

- 票ヲ交付シ市町村「トラホーム」治療所又ハ其ノ他ノ醫師ノ治療ヲ受ケシムヘシ
- 第三條 學校長幼稚園長ハ毎月一回治療票ノ査閱ヲ行ヒ其ノ月日ヲ査閱欄ニ記入スヘシ
- 第四條 學校幼稚園ニハ第二號様式ニ依リ「トラホーム」患者名簿ヲ備ヘ之ヲ整理スヘシ
- 第五條 學校幼稚園ニ於テハ左ニ掲ケル事項ヲ遵守スヘシ
- 一 手洗水ハ流出裝置トナスコト
  - 二 洗面器ハ患者用ト健康者用トヲ區別スルコト
  - 三 幼兒兒童生徒ノ手拭ハ共用セサルコト
  - 四 患者ノ使用スル物品ハ時々消毒スルコト
- 第六條 學校長幼稚園長ハ第一條ノ檢診結果ニ依リ第三號様式ノ檢診成績表ヲ作成シ翌月十日限り縣立學校ニ在リテハ知事ニ、其ノ他ノ學校及幼稚園ニ在リテハ市町村長ニ報告スヘシ
- 市町村長前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ種類別ニ之ヲ取纏メ第四號様式ニ依リ集計表ヲ添ヘ其ノ月末日限り知事ニ報告スヘシ
- 附 則  
 明治三十九年十一月十一日訓令第三十號ハ之ヲ廢止ス







重症  
結膜ニ汎ク顆粒發生スルモノ、顆粒ノ發生ト共ニ乳嘴ノ増殖著シキモノ又ハ炎症高度ニシテ分泌旺盛ナルモノ  
「トラホーム」性「パンマス」ヲ起シ進行中ニアルモノ  
輕症  
顆粒ノ發生、乳嘴ノ増殖等「トラホーム」性病變カ眼險結膜ノ内外背部半月狀皺襞又ハ穹窿部ニ限局スルモノ  
疑似症  
結膜ニ於ケル病變輕度ニシテ分泌少ナキモノ  
「トラホーム」ニ類似スル症狀アルモ直ニ「トラホーム」ト診定シ難キモノ  
「トラホーム」經過ノ疑アル痕跡アリテ炎症ヲ伴フモノ  
「トラホーム」後遺症ニ屬スルモノ  
第三號樣式ノ一 (用紙大サ美濃紙半切大)

第三號樣式ノ一 (用紙大サ美濃紙半切大)  
郡市……學 校男(女)トラホーム檢診成績表

年 月 日 檢 診

學 年	檢 診 人 員	線 越 舊 患 者			新 患 者			合 計	百 分 比	百 前 分 比 期	備 考
		重	輕	計	重	輕	計				
合計											

備考  
男女各別ニ作製ノコト  
記載注意

〔愛知青〕

一 線越舊患者トハ前期ヨリ引續キノ患者ヲイフ  
二 新患者トハ前期ニ「トラホーム」ナク今期患者トナリシモノヲイフ  
三 合計トハ線越舊患者計ト新患者計トノ合計人員ヲイフ  
四 百分比トハ檢診人員ト合計人員トノ百分比ヲイフ  
五 前期百分比トハソノ學年ノ前期檢診ノ百分比ヲイフ  
第三號樣式ノ二

〔愛知青〕

郡市……學校職員職員トラホーム檢診成績表

職 員 別	人 員	線 越 舊 患 者			新 患 者			合 計	百 分 比	百 前 分 比 期	備 考
		重	輕	計	重	輕	計				
合計											

第四號樣式

郡市……町……村……學 校  
樣式ハ第三號樣式ニ同シ  
校トヲホーム檢診成績表 (男 女)

年 四 月 檢 診

備考  
一 第三號樣式ノ(一)及(二)ニ準シ學校、幼稚園ノ各男女別及職員職員ノ各種類別ニ集計ノコト



### ●公立私立學校幼稚園職員ニ對シ 身體検査ヲ施行セシムルノ件

大正十五年九月二十一日  
愛知縣訓令第四百二十四號

市町村 公立私立學校 公立私立幼稚園

公立私立學校幼稚園職員ニ對シ本縣學校衛生技師又ハ學校醫ヲシテ身體検査ヲ施行セシム  
大正六年九月訓令第二十七號ハ之ヲ廢止ス

### ●學校醫囑託ニ關スル規程

大正七年一月十一日  
愛知縣訓令第一號

改正 大正一五年九月訓令第一二三號、昭和四年二月第四七號

市町村長 學校組合管理者 公立私立學校長

公立私立幼稚園長

第一條 公立學校醫囑託ニ就テハ市町村長、學校組合管理者若クハ縣立學校長ニ於テ左ノ事項ヲ知事ニ具申スヘシ

一、現住所、氏名

二、學校名生徒兒童數(囑託當時)並手當額

三、學業業務賞罰ノ履歷書並醫術開業免狀ノ寫

現ニ學校醫ノ職ニ在ル者ニ囑託セントスルトキハ前項第三號ノ書類添付ヲ要セス

私立學校ニ於テ學校醫ヲ囑託シタルトキハ其ノ年月日及第一項各號ノ事項ヲ十日以内ニ知事ニ開申スヘシ

第二條 學校醫ハ同一人ヲシテ生徒兒童數壹千名ヲ超エ又ハ二ヶ町村ノ學校ニ互リ擔任セシメサルモノトス但特別ノ事情アル場合ハ此ノ限りニアラス

第三條 學校醫ノ手當金額ハ左ノ標準ニ據ルヘシ

一、生徒兒童數貳百名未滿ハ年額金參拾圓以上五百名未滿ハ年額金五拾圓以上トナスコト

二、五百名以上ハ人員ニ依リ適宜定ムルコト

第四條 公立學校醫ノ手當額ヲ變更スルノ必要アリト認ムルトキハ其ノ都度市町村長、學校組合管理者若クハ縣立學校長ニ於テ之ヲ具申スヘシ

第五條 公立學校醫ノ囑託ヲ解クノ必要アリト認メタルトキハ市町村長、學校組合管理者若クハ縣立學校長ニ於テ其ノ事由ヲ具申スヘシ其ノ死亡

〔愛知青〕

〔愛知青〕

### ●學校醫職務規程施行細則

明治三十三年六月十一日  
愛知縣令第五十二號

改正 大正一五年九月縣令第一七〇號

第一條 學校醫ハ學校醫職務規程ニ定ムル所ノ外管理者ノ請求ニ依リ隨時其職務ニ從事スヘシ

第二條 學校醫ハ學校醫職務規程第三條ノ視察事項及ヒ第六條第七條ニ依リ申告シタル事項中特ニ重要ナルモノハ其ノ事由ヲ具シ知事ニ申告スヘシ

第三條 學校醫ハ校舍ノ建築及修繕ニ關スル設計ニ參與シ意見ヲ管理者ニ申告スヘシ

第四條 學校醫職務執行上特別ノ器械ヲ要スルトキハ管理者ニ協議スヘシ

第五條 學校醫事故アリテ七日以上居住地ヲ離レントスルトキハ豫メ管理者ニ通知スヘシ

附則 明治三十五年十月本縣訓令第四十九號ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス



- 第六條 學校醫其職務ヲ辭セントスルトキハ市町村長ヲ經テ知事ニ申出ツ
- 第七條 學校醫其職務ヲ解カレタルトキハ事務引繼書ヲ作り後任者若クハ學校長ニ引繼キ連署シテ管理者ニ差出スヘシ
- 第八條 本則中管理者ニ關スル規定ハ縣立學校長ニ準用ス
- 第九條 本則ニ定ムル所ノ外縣立學校長ト特別ノ契約アルモノハ其契約ニ依ル

### ●學校醫ニ關スル件

昭和十二年九月十七日  
教第四二九三號學務部長通牒

各市町村長 各學校長(市町村立學校長ヲ除ク)

- 學校醫ハ其ノ職務ノ本質上左ノ各號ノ一ニ該當スル者タルヲ要スレヲ以テ右ニ該當セザルニ至リタルトキハ直ニ解職ノ手續ヲ取ラレ度依命及通牒候
  - 一 學校所在地ニ常住若ハ開業スル醫師
  - 二 學校所在地ニ適當ナル醫師ナキトキハ最寄隣接地ニ常住若ハ開業スル醫師
- 備考 本變ノ爲應召セラレタル學校醫ハ現職ノ儘トス

〔愛知青〕

〔愛知青〕

### 第四章 補則

#### ●青年學校補助規程

昭和十二年一月八日  
愛知縣令第一號

青年學校補助規程左ノ通定ム

- 第一條 青年學校ノ充實振興ヲ圖ル爲本令ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付ス
- 第二條 補助金ハ左ノ經費ニ對シ之ヲ交付ス
  - 一 公立青年學校專任教員俸給費
  - 二 公立青年學校經費
- 第三條 前條第一項第一號ノ經費ニ對スル補助金ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ交付ス
  - 一 當該年度ニ於テ新ニ置キタル專任教員ノ其ノ年度俸給手當額ノ十分ノ五

#### 第四章 補則

- 二 當該年度ニ於テ増設シタル專任教員ノ其ノ年度俸給手當額ノ十分ノ五以内
- 三 前年度以前ニ於テ設置シタル專任教員ノ其ノ年度俸給手當額ノ十分ノ四以内
- 第四條 第二條第一項第二號ノ經費ニ對スル補助金ハ補助豫算總額ヨリ前條第一號ニ依ル補助額ヲ控除シタル額ノ十分ノ二ヲ各學校ニ於ケル當該年度生徒數及專任教員俸給手當以外ノ經常費ニ比例シ之ヲ交付ス
- 第五條 第二條第二項ニ依ル補助金ハ補助豫算總額ヨリ第三條第一號ニ依ル補助額ヲ控除シタル額ノ十分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ズ
- 第六條 第二條第一項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケントスル學校管理者ハ左ノ各號ノ書類ヲ添附シ九月末日迄ニ知事ニ申請スベシ
  - 一 市町村又ハ町村學校組合當該年度歲入歲出豫算及前年度歲入歲出決算
  - 二 第一號様式ニ依ル專任教員ニ關スル調
  - 三 第二號様式ニ依ル教員履歷概要
  - 四 第三號様式ニ依ル最近三年間ノ專任教員調
- 第七條 本令ニ專任教員トアルハ左ノ者ヲ謂フ
  - 一 公立青年學校ノ專任ノ教諭又ハ助教諭タル者
  - 一 公立青年學校ノ專任ノ學校長ニシテ當該學校ノ教諭又ハ助教諭ニ兼任セラレタル者
  - 一 前各號以外ノ公立青年學校教員タル者ニシテ當該學校ノ教員タルコトヲ本務トシ且手當又ハ給料月額四十圓以上ヲ受ケル者
- 第八條 補助金交付ノ指令ヲ受ケ又ハ補助金ノ交付ヲ受ケタル學校ノ管理、經營又ハ補助金ノ費途不適當ト認メタルトキハ知事ハ補助金交付ノ指令ヲ取消シ又ハ既ニ交付シタル補助金ノ全部若ハ一部ノ還付ヲ命ズル







ルモノハ區別シテ之ヲ計上シ且備考ニ附記スベシ  
二 本表ハ豫算定員ニ依ラズ現員ニ付調査スベシ  
三 校長ニシテ當該學校ノ教諭又ハ助教諭ヲ兼ムル者ハ「長」ヲ附シ外書スベシ其ノ之ヲ兼テザル者ハ計上セズ備考ニ其ノ氏名ヲ附記スベシ

### ●青年學校補助取扱ニ關スル件

昭和十二年一月十九日  
社教第五八號 學務部長通牒

各市町村長 各公立青年學校校長宛

昭和十一年度以降ニ於ケル青年學校ニ對スル補助金ノ交付ニ關シテハ本月八日縣令第一號ヲ以テ青年學校補助規程ヲ公布相成候ヘ共之ガ取扱ニ關シテハ當該ノ内左記各項ニ依リ交付額ヲ決定可致ニ付御了知相成度

記

#### 青年學校補助金取扱要項

- 一 青年學校補助規程第二條第一項第一號ニ定ムル補助金ハ俸給又ハ手當月額男子專任教員ニ在リテハ四十圓以上、女子專任教員ニ在リテハ三十圓以上ニ非ザレバ交付セズ
- 二 專任教員ニシテ小學校兼務時數毎週十二時間以上ニ互ルモノハ補助金ノ交付ヲ停止シ又ハ補助率ヲ減ズルコトアルベシ
- 三 俸給又ハ手當ハ其ノ年度内ニ於テ六箇月以上支給スルモノニ非ザレバ補助金ヲ交付セズ
- 四 前各項ハ昭和十一年度分ヨリ實施スベキモ昭和十一年度分ニ限リ市町村財政ノ關係ヲ考慮シ若干ノ過渡的便法ヲ講ジ得ル見込ナリ

〔愛知青〕



昭和十四年一月二十二日印刷  
昭和十四年一月二十五日發行

愛知縣  
青年學校法令集

帝國地方行政學會編纂

株式會社帝國地方行政學會取締役社長

發行者 大谷仁兵衛

東京市京橋區銀座西七丁目壹番地

印刷者 大谷保

東京市京橋區銀座西七丁目壹番地

印刷所 行政學會印刷所

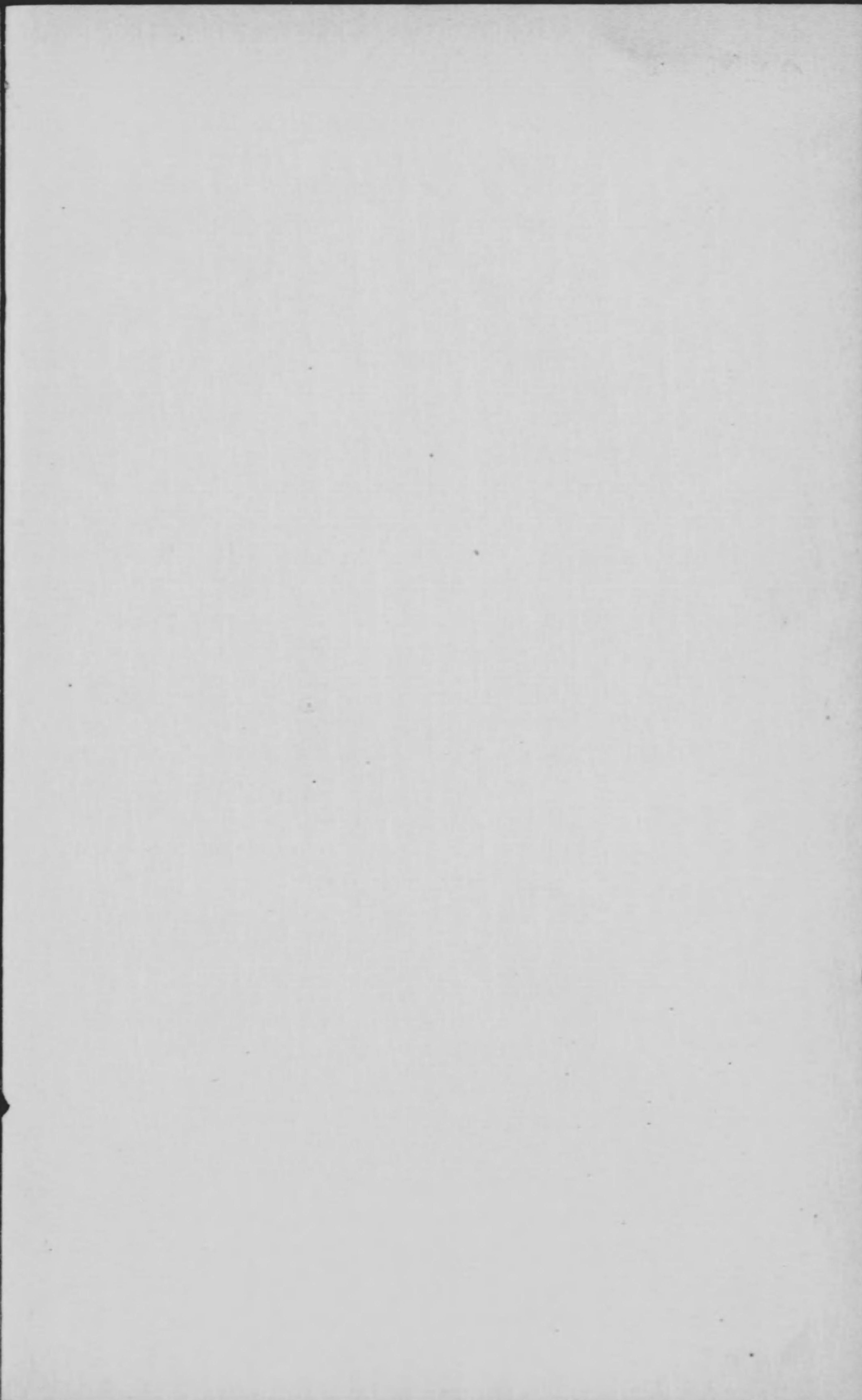
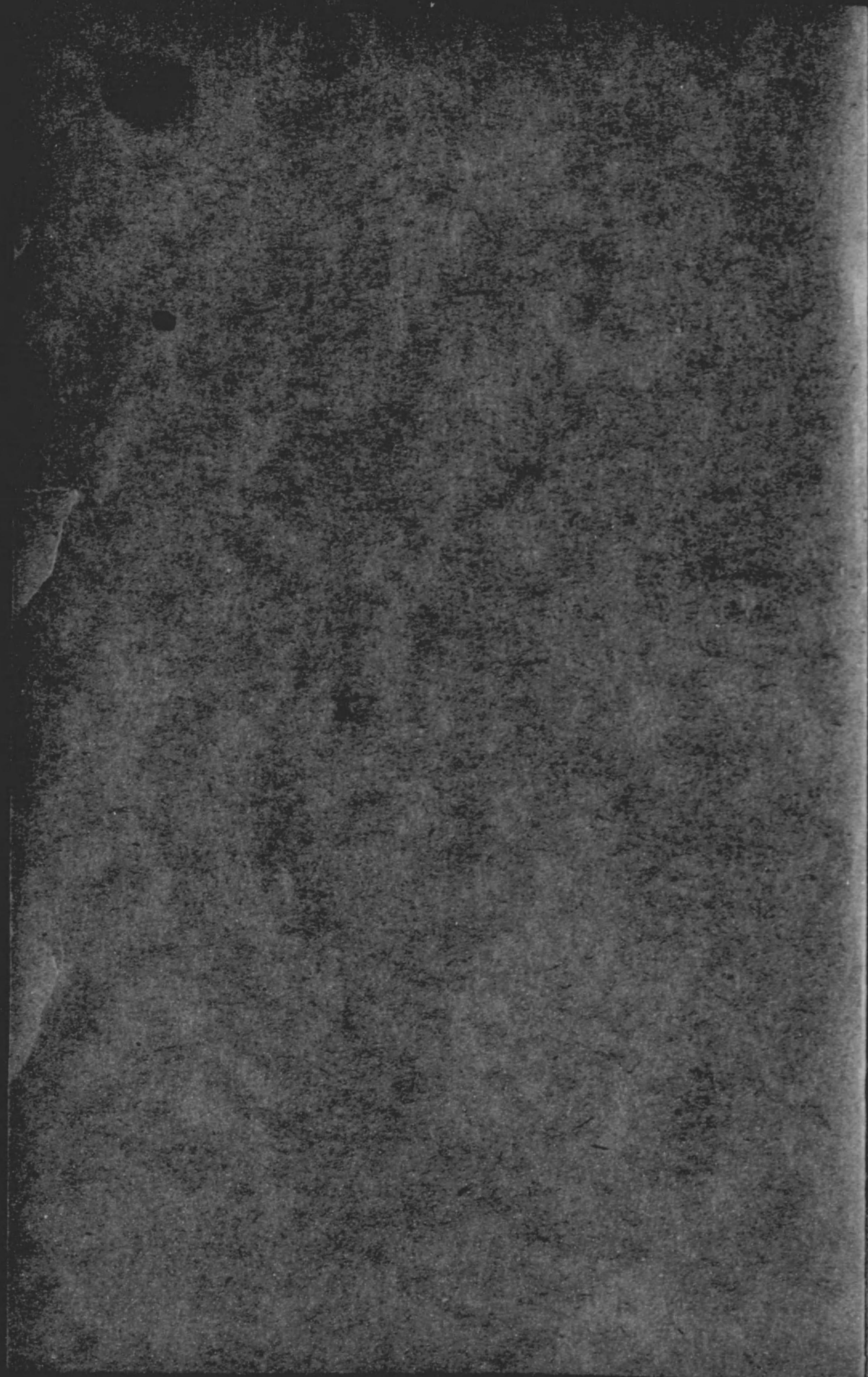
東京府立川町三九五番地

發行所

東京市京橋區銀座西七丁目壹番地  
電話銀座四六六〇—六六三・振替東京一三

株式會社 帝國地方行政學會







272  
5  
94



